

様式第17の4（第23条の9の3関係）

接続約款設定（変更）届出書

令和4年12月19日

総務大臣 殿

郵便番号 100-6150

(ふりがな) とうきょうとちよだくながたちょう

住所 東京都千代田区永田町2-11-1

(ふりがな) かぶしきがいしやえぬ・てい・てい・どこも

氏名 株式会社NTTドコモ  
代表取締役社長 井伊 基之

登録年月日 平成16年4月1日

登録番号 第74号

連絡先

電気通信事業法第34条第2項の規定により、別紙のとおり接続約款を変更するので届け出ます。

実施期日	令和4年12月26日
------	------------

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。

添付資料

別紙1 接続約款（精算接続料・接続形態）新旧対照表

別紙2 接続約款（技術的条件集）新旧対照表

様式第17の4の2

様式第17の4の3

様式第17の4の4

様式第17の4の5

様式第17の4の6

様式第17の4の7

様式第17の4の8

様式第17の4の9

様式第17の4の10

令和3年総務省告示第410号に基づく様式第1・2（R3用）

## 接続約款新旧対照表 (2022/12/26 改正)

新		旧	
別表 2 接続形態		別表 2 接続形態	
1 適用		1 適用	
区 分	内 容	区 分	内 容
(1) 事業者の区分	(略)	(1) 事業者の区分	(略)
(2) 表の適用	<p>本表において接続形態を次の各号により規定します。</p> <p>ア 「発信事業者」欄に示す事業者から発信し、「経由事業者」欄に示す事業者（2-2表においては、同一事業者を複数経由する場合も含みます。）を経由して「着信事業者」欄に示す事業者に着信する通信。ただし、該当の事業者が存在しない場合はその欄を空欄とし、右の「着信事業者」欄に示す事業者に着信するものとします。<u>なお、技術的条件集第2章第13節対地域／国際事業者（IP）インタフェースで接続する場合の接続形態は2-3表に規定します。2-3表に規定する発信事業者欄、着信事業者欄、利用者料金設定事業者欄、利用者料金請求事業者欄又は網使用料支払事業者欄において「協定事業者」と記述がある場合には、当社以外の全ての事業者に適用できるものとします。</u></p> <p>イ 各表適用欄においては、左欄の記号はそれぞれ右欄の意味で使用します。</p> <p>(略)</p> <p>ウ ～コ (略)</p> <p>サ 2-1表、2-2表又は2-3表に規定する接続形態において、着信事業者欄に規定する事業者と利用者料金設定事業者が同一となる音声接続に係る接続形態は、以下の場合に限り ます。</p> <p>(ア) 着信事業者の電気通信設備により制御を行うことにより、電気通信番号計画（令和元年総務省告示第6号）（以下「番号計画」といいます。）に定める付加的役務電話番号又は事業者識別番号を使用する当該着信事業者の契約者向けサービスを実現する場合</p> <p>(イ) 特定端末系事業者が着信事業者となる場合であって、番号計画に定める電報受付機能に係る番号に着信するとき</p>	<p>本表において接続形態を次の各号により規定します。</p> <p>ア 「発信事業者」欄に示す事業者から発信し、「経由事業者」欄に示す事業者（2-2表においては、同一事業者を複数経由する場合も含みます。）を経由して「着信事業者」欄に示す事業者に着信する通信。ただし、該当の事業者が存在しない場合はその欄を空欄とし、右の「着信事業者」欄に示す事業者に着信するものとします。</p> <p>イ 各表適用欄においては、左欄の記号はそれぞれ右欄の意味で使用します。</p> <p>(略)</p> <p>ウ ～コ (略)</p> <p>サ 2-1表又は2-2表に規定する接続形態において、着信事業者欄に規定する事業者と利用者料金設定事業者が同一となる音声接続に係る接続形態は、以下の場合に限り ます。</p> <p>(ア) 着信事業者の電気通信設備により制御を行うことにより、電気通信番号計画（令和元年総務省告示第6号）（以下「番号計画」といいます。）に定める付加的役務電話番号又は事業者識別番号を使用する当該着信事業者の契約者向けサービスを実現する場合</p> <p>(イ) 特定端末系事業者が着信事業者となる場合であって、番号計画に定める電報受付機能に係る番号に着信するとき</p> <p>(ウ) 携帯・自動車電話事業者が着信事業者となる場合であつ</p>	

## 接続約款新旧対照表 (2022/12/26 改正)

	<p>(ウ) 携帯・自動車電話事業者が着信事業者となる場合であつて、当該携帯・自動車電話事業者が指定する特定の電話番号への着信により当該着信事業者の契約者向けサービスを実現するとき</p> <p>(エ) 特定端末系事業者が発信事業者となる場合であつて、P H S事業者が着信事業者となるとき</p> <p>(オ) 端末系事業者又はI P電話事業者が発信事業者となる場合であつて、当社が着信事業者となるとき          (ワイドスター通信サービスに係る契約者回線に着信する場合であつて、発信事業者との合意により、当該発信事業者の準備が整うまでの間の時限的な接続形態に限ります。)</p>		<p>て、当該携帯・自動車電話事業者が指定する特定の電話番号への着信により当該着信事業者の契約者向けサービスを実現するとき</p> <p>(エ) 特定端末系事業者が発信事業者となる場合であつて、P H S事業者が着信事業者となるとき</p> <p>(オ) 端末系事業者又はI P電話事業者が発信事業者となる場合であつて、当社が着信事業者となるとき          (ワイドスター通信サービスに係る契約者回線に着信する場合であつて、発信事業者との合意により、当該発信事業者の準備が整うまでの間の時限的な接続形態に限ります。)</p>
--	---	--	--

接続約款新旧対照表 (2022/12/26 改正)

新							旧							
2-1: 当社が利用者料金設定を行う接続形態 (略)							2-1: 当社が利用者料金設定を行う接続形態 (略)							
2-2: 当社以外が利用者料金設定を行う接続形態 (略)							2-2: 当社以外が利用者料金設定を行う接続形態 (略)							
2-3: IP音声接続に係る接続形態														
No	第1表		第2表	第3表	第4表	適用	備考	第1表		第2表	第3表	第4表	適用	備考
	発信事業者	着信事業者	利用者料金設定事業者	利用者料金請求事業者	網使用料支払事業者			発信事業者	着信事業者	利用者料金設定事業者	利用者料金請求事業者	網使用料支払事業者		
1	当社	協定事業者	当社	当社	-			当社	協定事業者	当社	当社	-		
2	当社	協定事業者	協定事業者	当社	協定事業者	(d)		当社	協定事業者	当社	当社	協定事業者	(d)	
3	当社	協定事業者	協定事業者	協定事業者	協定事業者			当社	協定事業者	協定事業者	協定事業者	協定事業者		
4	協定事業者	当社	当社	当社	-			協定事業者	当社	当社	当社	-		
5	協定事業者	当社	協定事業者	協定事業者	協定事業者			協定事業者	当社	協定事業者	協定事業者	協定事業者		

接続約款新旧対照表 (2022/12/26 改正)

新		旧		
<p><u>附 則 (令和 4 年 12 月 19 日経企第 2964 号)</u>  <u>(実施期日)</u>            1 <u>この改正規定は、令和 4 年 12 月 26 日から実施します。</u></p> <p><u>(接続料金の実績に基づく精算)</u>            2 <u>当社は、第 61 条の 3 (接続料金の実績に基づく精算) に基づき、料金表第 1 表 (接続料金) 第 1 (網使用料) 2 (料金額) の規定にかかわらず、第 6 欄、第 7 欄、第 7 欄の 2、第 8 欄、第 9 欄及び第 9 欄の 2 に定める料金額について、令和 3 年度に適用していた料金額と次表に規定する料金額との差額に、令和 3 年度の需要の実績値を乗じて得た額を、協定事業者と精算します。</u></p>				
	<u>区分</u>	<u>単位</u>	<u>料金額</u>	<u>備考</u>
<u>(6) FOM</u> <u>A 直収パケット</u> <u>接続機能</u>	<u>ア GTP 接続</u>	<u>(ア)</u> <u>10Mb/s のも</u> <u>の</u>	<u>270,243 円</u>	<u>月額</u>
		<u>(イ)</u> <u>10Mb/s を超</u> <u>える 1.0Mb/s</u> <u>ごとに</u>	<u>27,024 円</u>	<u>月額</u>
<u>イ 削除</u>				
<u>(7) Xi 直</u> <u>収パケット接続</u> <u>機能</u>	<u>ア GTP 接続</u>	<u>(ア)</u> <u>10Mb/s のも</u> <u>の</u>	<u>270,243 円</u>	<u>月額</u>
		<u>(イ)</u> <u>10Mb/s を超</u> <u>える 1.0Mb/s</u> <u>ごとに</u>	<u>27,024 円</u>	<u>月額</u>
<u>イ 削除</u>				

接続約款新旧対照表 (2022/12/26 改正)

<u>(7) の2</u> <u>5G直取パケ</u> <u>ット接続機能</u>	<u>GTP接続</u>	<u>(ア)</u> <u>10Mb/sのも</u> <u>の</u>	<u>270,243円</u>	<u>月額</u>	
		<u>(イ)</u> <u>10Mb/sを超</u> <u>える1.0Mb/s</u> <u>ごとに</u>	<u>27,024円</u>	<u>月額</u>	
<u>(8) FOMA特定接続契約者回</u> <u>線管理機能</u>	<u>1契約者回線</u> <u>ごとに</u>	<u>71円</u>	<u>月額</u>		
<u>(9) Xi 特定接続契約者回線管</u> <u>理機能</u>	<u>1契約者回線</u> <u>ごとに</u>	<u>71円</u>	<u>月額</u>		
<u>(9) の2 5G 特定接続契約者回</u> <u>線管理機能</u>	<u>1契約者回線</u> <u>ごとに</u>	<u>71円</u>	<u>月額</u>		

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧
目次	技術的条件集目次 (略) 第12節 対移動体事業者 (IP) インタフェース 第45条 網構成 技-115 第46条 接続方式 技-115 第47条 輻輳制御方式 技-116 第48条 その他接続に必要な事項 技-116 <u>第13節 対地域/国際事業者 (IP) インタフェース</u> <u>    第49条 網構成 技-118</u> <u>    第50条 接続方式 技-118</u> <u>    第51条 輻輳制御方式 技-120</u> <u>    第52条 その他接続に必要な事項 技-121</u> (略) 技術的条件集別表 (略) 12 移動体事業者 (IP) インタフェース仕様 12-1 制御プロトコル仕様 技別12-1-1 12-2 シーケンス 技別12-2-1 <u>    13 対地域/国際事業者 (IP) インタフェース仕様</u> <u>      13-1 制御プロトコル仕様 技別13-1-1</u> <u>      13-2 シーケンス 技別13-2-1</u> (略)	技術的条件集目次 (略) 第12節 対移動体事業者 (IP) インタフェース 第45条 網構成 技-115 第46条 接続方式 技-115 第47条 輻輳制御方式 技-116 第48条 その他接続に必要な事項 技-116 (略) 技術的条件集別表 (略) 12 移動体事業者 (IP) インタフェース仕様 12-1 制御プロトコル仕様 技別12-1-1 12-2 シーケンス 技別12-2-1 (略)



## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																		
技1、 技3、 技4	<p>第1章 通則 (用語の定義) 第1条 この技術的条件集においては、次表の左欄の用語はそれぞれの右欄の意味で使用します。</p> <table border="1" data-bbox="156 325 996 1210"> <thead> <tr> <th>用語</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 形態</td> <td>接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念形態ごとの接続条件は第5条(1)、第9条(1)、<u>第46条(1)および第50条(1)</u>を参照</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>(15) G S (Gateway Switch)</td> <td>当社と相互接続する直接協定事業者の交換機を指します。</td> </tr> <tr> <td><u>(16) 削除</u></td> <td><u>削除</u></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>(29) 対移動体事業者 (IP) インタフェース</td> <td>携帯電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</td> </tr> <tr> <td><u>(30) 対地域事業者 (IP) インタフェース</u></td> <td><u>端末系事業者、特定端末系事業者、PHS事業者、IP電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</u></td> </tr> <tr> <td><u>(31) 対国際事業者 (IP) インタフェース</u></td> <td><u>国際系事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</u></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	用語	意味	(1) 形態	接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念形態ごとの接続条件は第5条(1)、第9条(1)、 <u>第46条(1)および第50条(1)</u> を参照	(略)	(略)	(15) G S (Gateway Switch)	当社と相互接続する直接協定事業者の交換機を指します。	<u>(16) 削除</u>	<u>削除</u>	(略)	(略)	(29) 対移動体事業者 (IP) インタフェース	携帯電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。	<u>(30) 対地域事業者 (IP) インタフェース</u>	<u>端末系事業者、特定端末系事業者、PHS事業者、IP電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</u>	<u>(31) 対国際事業者 (IP) インタフェース</u>	<u>国際系事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</u>	(略)	(略)	<p>第1章 通則 (用語の定義) 第1条 この技術的条件集においては、次表の左欄の用語はそれぞれの右欄の意味で使用します。</p> <table border="1" data-bbox="1054 325 1895 911"> <thead> <tr> <th>用語</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 形態</td> <td>接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念形態ごとの接続条件は第5条(1)、第9条(1)および第46条(1)を参照</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>(15) G S (Gateway Switch)</td> <td>当社と相互接続する直接協定事業者の交換機を指します。</td> </tr> <tr> <td>(16) I W E ( Interwork Equipment)</td> <td>回線交換直収接続を行う当社の装置を指します。</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>(29) 対移動体事業者 (IP) インタフェース</td> <td>携帯電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	用語	意味	(1) 形態	接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念形態ごとの接続条件は第5条(1)、第9条(1)および第46条(1)を参照	(略)	(略)	(15) G S (Gateway Switch)	当社と相互接続する直接協定事業者の交換機を指します。	(16) I W E ( Interwork Equipment)	回線交換直収接続を行う当社の装置を指します。	(略)	(略)	(29) 対移動体事業者 (IP) インタフェース	携帯電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。
用語	意味																																			
(1) 形態	接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念形態ごとの接続条件は第5条(1)、第9条(1)、 <u>第46条(1)および第50条(1)</u> を参照																																			
(略)	(略)																																			
(15) G S (Gateway Switch)	当社と相互接続する直接協定事業者の交換機を指します。																																			
<u>(16) 削除</u>	<u>削除</u>																																			
(略)	(略)																																			
(29) 対移動体事業者 (IP) インタフェース	携帯電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。																																			
<u>(30) 対地域事業者 (IP) インタフェース</u>	<u>端末系事業者、特定端末系事業者、PHS事業者、IP電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</u>																																			
<u>(31) 対国際事業者 (IP) インタフェース</u>	<u>国際系事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。</u>																																			
(略)	(略)																																			
用語	意味																																			
(1) 形態	接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念形態ごとの接続条件は第5条(1)、第9条(1)および第46条(1)を参照																																			
(略)	(略)																																			
(15) G S (Gateway Switch)	当社と相互接続する直接協定事業者の交換機を指します。																																			
(16) I W E ( Interwork Equipment)	回線交換直収接続を行う当社の装置を指します。																																			
(略)	(略)																																			
(29) 対移動体事業者 (IP) インタフェース	携帯電話事業者がSIPによるセッション制御機能を利用した通信で接続する時に適用するインタフェース種別を指します。																																			

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																
技5	<p data-bbox="162 172 952 204">第2条 本則に規定する標準的な接続箇所は次のとおりとします。</p> <table border="1" data-bbox="162 222 996 639"> <thead> <tr> <th data-bbox="162 222 510 257">標準的な接続箇所</th> <th data-bbox="510 222 996 257">技術的条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="162 257 510 415">(1) 関門交換機の伝送装置</td> <td data-bbox="510 257 996 415">技術的条件集第2章第1節、第2節、第9節、第11節、第12節第45条、<u>および第13節第49条</u>に規定するところによります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 415 510 519">(2) 削除</td> <td data-bbox="510 415 996 519">削除</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 519 510 639">(3) 直取パケット交換機のルータ</td> <td data-bbox="510 519 996 639">技術的条件集第2章第6節第20条、第10節第36条に規定するところによります。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="208 682 500 711">(相互接続呼の接続条件)</p> <p data-bbox="162 718 1016 782">第3条 当社網のインタフェース種別と接続番号の関係は第5条(1)、第9条(1)、第46条(1)<u>および第50条(1)</u>に示すとおりとします。</p> <p data-bbox="162 793 1006 858">2 利用可能な当社の付加サービスに関わる利用条件は技術的条件集別表2に示すとおりとします。</p> <p data-bbox="162 869 1006 972">3 当社と協定事業者との接続における信号方式及び信号シーケンスその他接続に係わる選択可能な条件等については、当社が協定事業者と協議の上定める技術的条件確認事項に特定します。</p> <p data-bbox="162 983 1006 1048">4 当社と協定事業者との伝送路装置間インタフェース仕様は、技術的条件集別表7、<u>別表12-1、別表13-1</u>に示すとおりとします。</p> <p data-bbox="179 1090 227 1119">(略)</p>	標準的な接続箇所	技術的条件	(1) 関門交換機の伝送装置	技術的条件集第2章第1節、第2節、第9節、第11節、第12節第45条、 <u>および第13節第49条</u> に規定するところによります。	(2) 削除	削除	(3) 直取パケット交換機のルータ	技術的条件集第2章第6節第20条、第10節第36条に規定するところによります。	<p data-bbox="1045 172 1835 204">第2条 本則に規定する標準的な接続箇所は次のとおりとします。</p> <table border="1" data-bbox="1045 222 1879 639"> <thead> <tr> <th data-bbox="1045 222 1392 257">標準的な接続箇所</th> <th data-bbox="1392 222 1879 257">技術的条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1045 257 1392 415">(1) 関門交換機の伝送装置</td> <td data-bbox="1392 257 1879 415">技術的条件集第2章第1節、第2節、第9節、第11節、および第12節第45条に規定するところによります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1045 415 1392 519">(2) 削除</td> <td data-bbox="1392 415 1879 519">削除</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1045 519 1392 639">(3) 直取パケット交換機のルータ</td> <td data-bbox="1392 519 1879 639">技術的条件集第2章第6節第20条、第10節第36条に規定するところによります。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1091 682 1383 711">(相互接続呼の接続条件)</p> <p data-bbox="1045 718 1899 782">第3条 当社網のインタフェース種別と接続番号の関係は第5条(1)、第9条(1)および第46条(1)に示すとおりとします。</p> <p data-bbox="1045 793 1885 858">2 利用可能な当社の付加サービスに関わる利用条件は技術的条件集別表2に示すとおりとします。</p> <p data-bbox="1045 869 1885 972">3 当社と協定事業者との接続における信号方式及び信号シーケンスその他接続に係わる選択可能な条件等については、当社が協定事業者と協議の上定める技術的条件確認事項に特定します。</p> <p data-bbox="1045 983 1885 1048">4 当社と協定事業者との伝送路装置間インタフェース仕様は、技術的条件集別表7に示すとおりとします。</p> <p data-bbox="1062 1090 1110 1119">(略)</p>	標準的な接続箇所	技術的条件	(1) 関門交換機の伝送装置	技術的条件集第2章第1節、第2節、第9節、第11節、および第12節第45条に規定するところによります。	(2) 削除	削除	(3) 直取パケット交換機のルータ	技術的条件集第2章第6節第20条、第10節第36条に規定するところによります。
標準的な接続箇所	技術的条件																	
(1) 関門交換機の伝送装置	技術的条件集第2章第1節、第2節、第9節、第11節、第12節第45条、 <u>および第13節第49条</u> に規定するところによります。																	
(2) 削除	削除																	
(3) 直取パケット交換機のルータ	技術的条件集第2章第6節第20条、第10節第36条に規定するところによります。																	
標準的な接続箇所	技術的条件																	
(1) 関門交換機の伝送装置	技術的条件集第2章第1節、第2節、第9節、第11節、および第12節第45条に規定するところによります。																	
(2) 削除	削除																	
(3) 直取パケット交換機のルータ	技術的条件集第2章第6節第20条、第10節第36条に規定するところによります。																	

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧
技115、 技116	<p data-bbox="285 177 846 201"><b>第12節 対移動体事業者（IP）インタフェース</b></p> <p data-bbox="181 211 227 235">(略)</p> <p data-bbox="208 277 340 301"><b>(接続方式)</b></p> <p data-bbox="162 314 1006 376"><b>第46条</b> 当社網と直接協定事業者網間での使用する接続方式は、次のとおりとします。</p> <p data-bbox="204 388 1006 562">(1) 当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号は電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとします。なお、直接協定事業者は当社の加入契約者から直接協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要します。</p> <p data-bbox="258 574 981 636">当社網と直接協定事業者網間で使用する接続番号構成は次のとおりとします。</p> <p data-bbox="181 648 227 672">(略)</p> <p data-bbox="204 684 1006 746">(4) 当社網と直接協定事業者網間で使用する網使用料の課金方式は次のとおりとします。</p> <p data-bbox="239 758 1006 821">ア 当社網および直接協定事業者網の応答信号の返送条件は次のとおりとします。</p> <p data-bbox="324 832 1006 895">(ア) 着側網は端末機器等からの応答を受信した場合は、発側網に対し直ちに応答信号を返送します。</p> <p data-bbox="324 906 1006 1080">(イ) 着側網は網使用料を精算する場合は「<u>initial INVITE</u>」に対する「<u>200 OK</u>」を発側網へ返送します。ただし、試験用の通信については「<u>initial INVITE</u>」に対する「<u>200 OK</u>」を発側網へ返送しますが、網使用料は精算しないこととします。</p> <p data-bbox="181 1092 227 1116">(略)</p>	<p data-bbox="1166 177 1727 201"><b>第12節 対移動体事業者（IP）インタフェース</b></p> <p data-bbox="1070 211 1116 235">(略)</p> <p data-bbox="1097 277 1228 301"><b>(接続方式)</b></p> <p data-bbox="1051 314 1895 376"><b>第46条</b> 当社網と直接協定事業者網間での使用する接続方式は、次のとおりとします。</p> <p data-bbox="1093 388 1895 562">(1) 当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号は電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとします。なお、直接協定事業者は当社の加入契約者から直接協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要します。</p> <p data-bbox="1147 574 1875 636">当社網と直接協定事業者網間で使用する接続番号構成は次のとおりとします。</p> <p data-bbox="1070 648 1116 672">(略)</p> <p data-bbox="1093 684 1895 746">(4) 当社網と直接協定事業者網間で使用する網使用料の課金方式は次のとおりとします。</p> <p data-bbox="1128 758 1895 821">ア 当社網および直接協定事業者網の応答信号の返送条件は次のとおりとします。</p> <p data-bbox="1213 832 1895 895">(ア) 着側網は端末機器等からの応答を受信した場合は、発側網に対し直ちに応答信号を返送します。</p> <p data-bbox="1213 906 1895 1080">(イ) 着側網は網使用料を精算する場合は切断信号を発側網へ返送します。この場合、課金表示の課金／非課金に関わりなく、網使用料は精算することとします。ただし、試験用の通信については切断信号を発側網へ返送しますが、網使用料は精算しないこととします。</p> <p data-bbox="1070 1092 1116 1116">(略)</p>

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																										
技118	<p><b>第13節 対地域／国際事業者（IP）インタフェース</b> <b>（網構成）</b></p> <p><b>第49条</b> 当社網と直接協定事業者網間の回線網の構成は次のとおりとします。</p> <p>(1) MGSとGSとの接続は、相互接続協定書に定める相互接続点単位に行うものとします。</p> <p>(2) 当社網と直接協定事業者網との間の通信経路については、複数の相互接続点を介した冗長化構成を可能とします。</p> <p><b>（接続方式）</b></p> <p><b>第50条</b> 当社網と協定事業者網間で使用する接続方式は次のとおりとします。</p> <p>(1) 当社網と協定事業者網間で使用する電気通信番号は電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとします。なお、協定事業者は当社の加入契約者から協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要します。</p> <p>当社網と協定事業者網間で使用する接続番号構成は次のとおりとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">インタフェース</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">呼方向</th> <th rowspan="2">接続番号構成</th> <th colspan="2">有効受信桁数 (注1)</th> </tr> <tr> <th>最小</th> <th>最大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対地域</td> <td>分類1</td> <td>当社網 ⇒ 協定事業者網</td> <td>0 + A B C D E + F G H I ① _____ ② _____ ③ _____ ①国内プレフィックス②市外局番+市内局番③加入者番号</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>対地域</td> <td>分類2</td> <td>協定事業者網 ⇒ 当社網</td> <td>0 A 0 + C D E + F G H J K ① _____ ② _____ ③ _____ ①サービス識別番号②事業者識別番号③加入者番号</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>対国際</td> <td>分類2</td> <td>協定事業者網 ⇒ 当社網</td> <td>0 A 0 + C D E + F G H J K ① _____ ② _____ ③ _____ ①サービス識別番号②事業者識別番号③加入者番号</td> <td>8</td> <td>10 (注2)</td> </tr> </tbody> </table>	インタフェース	分類	呼方向	接続番号構成	有効受信桁数 (注1)		最小	最大	対地域	分類1	当社網 ⇒ 協定事業者網	0 + A B C D E + F G H I ① _____ ② _____ ③ _____ ①国内プレフィックス②市外局番+市内局番③加入者番号	4	9	対地域	分類2	協定事業者網 ⇒ 当社網	0 A 0 + C D E + F G H J K ① _____ ② _____ ③ _____ ①サービス識別番号②事業者識別番号③加入者番号	8	10	対国際	分類2	協定事業者網 ⇒ 当社網	0 A 0 + C D E + F G H J K ① _____ ② _____ ③ _____ ①サービス識別番号②事業者識別番号③加入者番号	8	10 (注2)	
インタフェース	分類					呼方向	接続番号構成	有効受信桁数 (注1)																				
		最小	最大																									
対地域	分類1	当社網 ⇒ 協定事業者網	0 + A B C D E + F G H I ① _____ ② _____ ③ _____ ①国内プレフィックス②市外局番+市内局番③加入者番号	4	9																							
対地域	分類2	協定事業者網 ⇒ 当社網	0 A 0 + C D E + F G H J K ① _____ ② _____ ③ _____ ①サービス識別番号②事業者識別番号③加入者番号	8	10																							
対国際	分類2	協定事業者網 ⇒ 当社網	0 A 0 + C D E + F G H J K ① _____ ② _____ ③ _____ ①サービス識別番号②事業者識別番号③加入者番号	8	10 (注2)																							

## 接続約款新旧対照表

頁	新					旧					
技118、 技119	対地域	分類3	当社網 ⇒ 協定事 業者網	<u>0 A 0 + C D E + F G H J K</u> <u>① ② ③</u> ①サービス識別番号②事業者識別番号③加 入者番号	6	10					
	対国際	分類4	当社網 ⇒ 協定事 業者網	<u>0 0 X Y + × ~ ×</u> <u>① ②</u> ①事業者識別番号②国際公衆電気通信番号 等  <u>接続番号を次のとおりに区分します。</u> (ア)00XY <sub>1</sub> 系 00XYに続き国際公衆電気通信番号 が存在する接続番号 (イ)00XY <sub>2</sub> 系 00XYに続き、サービス識別コード が存在する接続番号 (ウ)00XY <sub>3</sub> 系 00XYに続き国際公衆電気通信番号 等が存在しない接続番号	4	24					
	対地域	分類5	当社網 ⇒ 協定事 業者網	(ア)0AB0着信課金 <u>0 1 2 0 + D E F + G H I</u> <u>① ② ③</u> <u>0 8 0 0 + D E F + G H J K</u> <u>① ② ③</u> ①サービス識別番号②事業者識別番号 ③加入者番号 (イ)0AB0発信課金 <u>0 5 7 0 + D E F + G H I</u> <u>① ② ③</u> ①サービス識別番号②事業者識別番号 ③契約者番号 <u>0 1 8 0 + 9 9 + F + G H I</u> <u>① ③ ④</u> ①サービス識別番号②地域識別番号③ 契約者番号	9	10					

## 接続約款新旧対照表

頁	新					旧					
技119、 技120	対地域	分類6	当社網 → 協定事 業者網	0A0 + CDEF + GHJK ① ② ③ ①サービス識別番号②事業者識別番号 ③加入者番号	9	10					
	対地域	分類7	当社網 → 協定事 業者網	00XY + X~X ① ② ①事業者識別番号②接続番号	4	24					
<p><u>(注1) : 有効受信桁数は国内プレフィックス、事業者識別番号、およびサービス識別番号の1桁目の0を除きます。また、有効受信桁数未満の着信番号が送出される場合があります。</u></p>											
<p><u>(注2) : 国際ローミングインユーザ呼の場合、90+542+XXXXXXの13桁となります。</u></p>											
<p><u>(2) 当社網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は、IP接続方式を適用します。</u></p>											
<p><u>(3) 当社網と直接協定事業者網間で使用する信号方式は次のとおりとします。</u></p>											
<p><u>なお、当社網が直接協定事業者網から本仕様で規定された以外のメッセージ、パラメータ、パラメータ情報要素等を受信した場合、当社は接続に関わる正常性を保証しません。</u></p>											
<p><u>ア SIP、DNSおよびENUM仕様は、技術的条件集別表13-1に示すとおりとします。</u></p>											
<p><u>イ 接続シーケンスは、技術的条件集別表13-2に示すとおりとします。</u></p>											
<p><u>(4) 当社網と協定事業者網間で使用する網使用料の課金方式は次のとおりとします。</u></p>											
<p><u>ア 当社網の応答信号の返送条件は次のとおりとします。</u></p>											
<p><u>(ア) 着側網は端末機器等からの応答を受信した場合は、発側網に対し直ちに応答信号を返送します。</u></p>											
<p><u>(イ) 着側網は網使用料を精算する場合は「initial INVITE」に対する「200 OK」を発側網へ返送します。ただし、試験用の通信については「initial INVITE」に対する「200 OK」を発側網へ返送しますが、網使用料は精算しないこととします。</u></p>											

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧										
技120	<p><u>イ 通信時間の測定等に規定する電気通信設備が応答信号を受信した時点は「initial INVITE」に対する「200 OK」を受信した時点とします。通信時間の測定等に規定する電気通信設備が切断信号を受信した時点は「bye」を受信した時点とします。</u></p> <p><u>(5) 当社網と直接協定事業者網間で使用する試験方式は次のとおりとします。</u></p> <p><u>ア 当社網と直接協定事業者の設備に関わる試験は、設備を所有する事業者が責任を持って実施し、他社の設備についての試験は原則として実施しません。</u></p> <p><u>ただし、故障切り分け等のため当社網と直接協定事業者網間は試験可能とします。</u></p> <p><u>イ 当社網と直接協定事業者網間で実施する手動接続試験は、MGSの自動応答トランク (AAT) 機能により行うこととし、当社網と直接協定事業者網間における手動接続試験の内容は次のとおりとします。</u></p> <table border="1" data-bbox="158 729 1010 912"> <thead> <tr> <th data-bbox="158 729 378 791">試験種別</th> <th data-bbox="378 729 486 791">接続先</th> <th data-bbox="486 729 755 791">試験番号構成</th> <th data-bbox="755 729 882 791">課金条件 (注1)</th> <th data-bbox="882 729 1010 791">強制切断の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="158 791 378 912">手動接続試験</td> <td data-bbox="378 791 486 912">MGSの AAT</td> <td data-bbox="486 791 755 912">0A0 +CDE +123</td> <td data-bbox="755 791 882 912">非課金</td> <td data-bbox="882 791 1010 912">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注1) : SIP信号上の「発ユーザ種別(cpcパラメータ)」に「test」が設定されている場合は、事業者間精算の対象外とします。</u></p> <p><u>(輻輳制御方式)</u></p> <p><b>第51条</b> <u>非常緊急通話の取り扱いについては次のとおりとします。</u></p> <p><u>(1) 本則の優先的に扱う通信の識別における優先信号とはSIP信号上の「cpcパラメータ」に「priority」又は「payphone」を設定した信号をいいます。当社が協定事業者網から送出された「cpcパラメータ」に基づき輻輳制御を行う場合は、制御率を当社網内に終始する呼と同等にします。協定事業者も当社網からの呼の制御を行う場合は、協定事業者網内に終始する呼と同等にします。</u></p>	試験種別	接続先	試験番号構成	課金条件 (注1)	強制切断の有無	手動接続試験	MGSの AAT	0A0 +CDE +123	非課金	有り	
試験種別	接続先	試験番号構成	課金条件 (注1)	強制切断の有無								
手動接続試験	MGSの AAT	0A0 +CDE +123	非課金	有り								

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧												
技120、 技121	<p><u>(2) 当社網と直接協定事業者網間での災害時優先電話の疎通を確保するため、当社網は優先発ユーザ回線留保機能及び両方向回線留保機能を有し、制御を行うことができます。</u></p> <p><u>2 回線留保機能による制御方法については次のとおりとします。</u></p> <p><u>(1) 回線群の両端でそれぞれ使用可能回線数（両方向トラヒックが多い時に両方向留保回線制御による回線使用の可否を判定するための値）、両方向留保回線数（片方向トラヒックが多い時に相手側のトラヒックのために留保する回線数）及び優先発ユーザ留保回線数（一般発ユーザトラヒックが多い時に優先発ユーザのトラヒックのために留保する回線数）を設定し、次の条件で回線捕捉を許可又は禁止します。</u></p> <table border="1" data-bbox="162 639 1000 1243"> <thead> <tr> <th data-bbox="162 639 440 668">発ユーザ種別</th> <th colspan="2" data-bbox="440 639 1000 668">回線捕捉の許可又は禁止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="162 668 440 696">ア 優先発ユーザ公衆電話</td> <td colspan="2" data-bbox="440 668 1000 696">回線捕捉時に空があれば捕捉を許可します</td> </tr> <tr> <td data-bbox="162 696 440 1243">イ ア欄以外</td> <td data-bbox="440 696 718 1029">回線捕捉時に自局側呼による使用回線数が使用可能回線数以上のとき</td> <td data-bbox="718 696 1000 1029"> <p>—</p> <p>JJ-90.30に記載された出SIPセッション制御を実施し、協定で定めたセッション数以上の接続要求を出さないため、本状態となることはありません。</p> <p>—</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="440 1029 718 1243">回線捕捉時に自局側呼による使用回線数が使用可能回線数未満のとき</td> <td data-bbox="718 1029 1000 1243"> <p>空回線数が優先発ユーザ留保回線数より大きいとき、自局の回線捕捉を許可します</p> <p>空回線数が優先発ユーザ留保回線数以下のとき、自局の回線捕捉を禁止します</p> </td> </tr> </tbody> </table>	発ユーザ種別	回線捕捉の許可又は禁止		ア 優先発ユーザ公衆電話	回線捕捉時に空があれば捕捉を許可します		イ ア欄以外	回線捕捉時に自局側呼による使用回線数が使用可能回線数以上のとき	<p>—</p> <p>JJ-90.30に記載された出SIPセッション制御を実施し、協定で定めたセッション数以上の接続要求を出さないため、本状態となることはありません。</p> <p>—</p>		回線捕捉時に自局側呼による使用回線数が使用可能回線数未満のとき	<p>空回線数が優先発ユーザ留保回線数より大きいとき、自局の回線捕捉を許可します</p> <p>空回線数が優先発ユーザ留保回線数以下のとき、自局の回線捕捉を禁止します</p>	
発ユーザ種別	回線捕捉の許可又は禁止													
ア 優先発ユーザ公衆電話	回線捕捉時に空があれば捕捉を許可します													
イ ア欄以外	回線捕捉時に自局側呼による使用回線数が使用可能回線数以上のとき	<p>—</p> <p>JJ-90.30に記載された出SIPセッション制御を実施し、協定で定めたセッション数以上の接続要求を出さないため、本状態となることはありません。</p> <p>—</p>												
	回線捕捉時に自局側呼による使用回線数が使用可能回線数未満のとき	<p>空回線数が優先発ユーザ留保回線数より大きいとき、自局の回線捕捉を許可します</p> <p>空回線数が優先発ユーザ留保回線数以下のとき、自局の回線捕捉を禁止します</p>												



## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧
技121	<p><u>(2) 直接協定事業者網は優先発ユーザ留保回線制御及び両方向留保回線制御を実施することの有無について、当社に通知することを要します。</u></p> <p><u>(3) 優先発ユーザ留保回線数、両方向留保回線数及び使用可能回線数については当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとします。</u></p> <p><u>(その他の必要な事項)</u></p> <p><b>第52条</b> <u>当社網と直接協定事業者網間で、その他の接続に必要な事項は次のとおりとします。</u></p> <p><u>(1) 電気通信回線設備の新設・増減設単位や、その他の接続に必要な事項のうち細目に渡るものについては当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとします。</u></p> <p><u>(2) 接続事業者間で実装すべき保守制御（迂回機能、総量規制等）は、当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとします。</u></p>	

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧						
技別 12- 1- 1	<p>技術的条件集別表12 対移動体事業者 (IP) インタフェース仕様 技術的条件集別表12-1 制御プロトコル仕様</p> <p>1. はじめに 本別表は、対移動体事業者 (IP) インタフェースで使用される制御信号プロトコルに関する仕様を規定する。</p> <p>1.1 適用規定 本書で定義する技術仕様の範囲を次の通りとする。MG S と G S 間で使用する S I P、E N U M および D N S は、T T C 標準に準拠します。</p> <p><u>1.2 伝送装置間インタフェース仕様</u> <u>表1.2-1 当社と接続可能な物理インタフェース、ケーブル種別</u></p> <table border="1" data-bbox="160 622 1008 758"> <thead> <tr> <th data-bbox="160 622 712 668">対応インタフェース種別 (仕様)</th> <th data-bbox="712 622 1008 668">光ケーブル種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="160 668 712 714"><u>10G BASE-LR (IEEE 802.3ae 準拠)</u></td> <td data-bbox="712 668 1008 714"><u>シングルモードケーブル</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="160 714 712 758"><u>10G BASE-ER (IEEE 802.3ae 準拠)</u></td> <td data-bbox="712 714 1008 758"><u>シングルモードケーブル</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. SIP適用規定 SIP仕様は「TTC標準 IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すT T C 標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TTC標準 JJ-90.30 <u>第10.0版</u> IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース</li> <li>• TTC標準 JJ-90.27 <u>第9.0版</u> 着信転送サービス (CDIV) に関するNNI仕様</li> </ul>	対応インタフェース種別 (仕様)	光ケーブル種別	<u>10G BASE-LR (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>	<u>10G BASE-ER (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>	<p>技術的条件集別表12 対移動体事業者 (IP) インタフェース仕様 技術的条件集別表12-1 制御プロトコル仕様</p> <p>1. はじめに 本別表は、対移動体事業者 (IP) インタフェースで使用される制御信号プロトコルに関する仕様を規定する。</p> <p>1.1 適用規定 本書で定義する技術仕様の範囲を次の通りとする。MG S と G S 間で使用する S I P、E N U M および D N S は、T T C 標準に準拠します。</p> <p>2. SIP適用規定 SIP仕様は「TTC標準 IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すT T C 標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TTC標準 JJ-90.30 第5.0版 IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース</li> <li>• TTC標準 JJ-90.27 第4.0版 着信転送サービス (CDIV) に関するNNI仕様</li> </ul>
対応インタフェース種別 (仕様)	光ケーブル種別							
<u>10G BASE-LR (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>							
<u>10G BASE-ER (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>							

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																																																																																																																							
技別 12- 1- 1、 技別 12- 1- 2	2.1 SIP設定条件 (略)  表 2.1-1 SIP基本設定条件  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>プロトコル</th> <th colspan="2">パラメータ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1</td> <td rowspan="10">SIP</td> <td>1</td> <td>IPバージョン</td> <td>v4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トランスポートプロトコル</td> <td>UDP</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポート番号</td> <td>5060</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="4">Req-URIの SIP URI フォー マット</td> <td>1</td> <td>global-number- digits</td> <td>+81A0CDEXXXXX</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>par</td> <td>npdi</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Hostport</td> <td>ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. org</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>uri-parameter</td> <td>user=phone</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5</td> <td rowspan="5">事業者識 別子</td> <td>1</td> <td>一般</td> <td>ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. org</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>衛星(陸上)</td> <td>land.sl.ims.mnc 010.mcc440.3gpp network.org</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>衛星(船舶)</td> <td>sea.sl.ims.mnc0 10.mcc440.3gppn etwork.org</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>衛星(新規)</td> <td><a href="#">sl2.ims.mnc010. mcc440.3gppnetw ork.org</a></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>IP電話</td> <td>ip.ims.mnc010.m cc440.3gppnetwo rk.org</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">RTP</td> <td>1</td> <td>IPバージョン</td> <td>v4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トランスポートプロトコル</td> <td>UDP</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポート番号</td> <td>SDPで指定</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">RTCP</td> <td>1</td> <td>IPバージョン</td> <td>v4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トランスポートプロトコル</td> <td>UDP</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポート番号</td> <td>SDPで指定</td> </tr> </tbody> </table>	項番	プロトコル	パラメータ		備考	1	SIP	1	IPバージョン	v4	2	トランスポートプロトコル	UDP	3	ポート番号	5060	4	Req-URIの SIP URI フォー マット	1	global-number- digits	+81A0CDEXXXXX	2	par	npdi	3	Hostport	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. org	4	uri-parameter	user=phone	5	事業者識 別子	1	一般	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. org	2	衛星(陸上)	land.sl.ims.mnc 010.mcc440.3gpp network.org	3	衛星(船舶)	sea.sl.ims.mnc0 10.mcc440.3gppn etwork.org	4	衛星(新規)	<a href="#">sl2.ims.mnc010. mcc440.3gppnetw ork.org</a>	5	IP電話	ip.ims.mnc010.m cc440.3gppnetwo rk.org	2	RTP	1	IPバージョン	v4	2	トランスポートプロトコル	UDP	3	ポート番号	SDPで指定	3	RTCP	1	IPバージョン	v4	2	トランスポートプロトコル	UDP	3	ポート番号	SDPで指定	2.1 SIP設定条件 (略)  表 2.1-1 SIP基本設定条件  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>プロトコル</th> <th colspan="2">パラメータ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1</td> <td rowspan="10">SIP</td> <td>1</td> <td>IPバージョン</td> <td>v4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トランスポートプロトコル</td> <td>UDP</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポート番号</td> <td>5060</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="4">Req-URIの SIP URI フォー マット</td> <td>1</td> <td>global-number- digits</td> <td>+81A0CDEXXXXX</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>par</td> <td>npdi</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Hostport</td> <td>ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. .org</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>uri-parameter</td> <td>user=phone</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5</td> <td rowspan="4">事業者識 別子</td> <td>1</td> <td>一般</td> <td>ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. .org</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>衛星(陸上)</td> <td>land.sl.ims.mnc 010.mcc440.3gp pnetwork.org</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>衛星(船舶)</td> <td>sea.sl.ims.mnc0 10.mcc440.3gpp network.org</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>IP電話</td> <td>ip.ims.mnc010.m cc440.3gppnetw ork.org</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">RTP</td> <td>1</td> <td>IPバージョン</td> <td>v4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トランスポートプロトコル</td> <td>UDP</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポート番号</td> <td>SDPで指定</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">RTCP</td> <td>1</td> <td>IPバージョン</td> <td>v4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>トランスポートプロトコル</td> <td>UDP</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポート番号</td> <td>SDPで指定</td> </tr> </tbody> </table>	項番	プロトコル	パラメータ		備考	1	SIP	1	IPバージョン	v4	2	トランスポートプロトコル	UDP	3	ポート番号	5060	4	Req-URIの SIP URI フォー マット	1	global-number- digits	+81A0CDEXXXXX	2	par	npdi	3	Hostport	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. .org	4	uri-parameter	user=phone	5	事業者識 別子	1	一般	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. .org	2	衛星(陸上)	land.sl.ims.mnc 010.mcc440.3gp pnetwork.org	3	衛星(船舶)	sea.sl.ims.mnc0 10.mcc440.3gpp network.org	4	IP電話	ip.ims.mnc010.m cc440.3gppnetw ork.org	2	RTP	1	IPバージョン	v4	2	トランスポートプロトコル	UDP	3	ポート番号	SDPで指定	3	RTCP	1	IPバージョン	v4	2	トランスポートプロトコル	UDP	3	ポート番号	SDPで指定
項番	プロトコル	パラメータ		備考																																																																																																																																					
1	SIP	1	IPバージョン	v4																																																																																																																																					
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																																																																																																					
		3	ポート番号	5060																																																																																																																																					
		4	Req-URIの SIP URI フォー マット	1	global-number- digits	+81A0CDEXXXXX																																																																																																																																			
				2	par	npdi																																																																																																																																			
				3	Hostport	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. org																																																																																																																																			
				4	uri-parameter	user=phone																																																																																																																																			
		5	事業者識 別子	1	一般	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. org																																																																																																																																			
				2	衛星(陸上)	land.sl.ims.mnc 010.mcc440.3gpp network.org																																																																																																																																			
				3	衛星(船舶)	sea.sl.ims.mnc0 10.mcc440.3gppn etwork.org																																																																																																																																			
4	衛星(新規)			<a href="#">sl2.ims.mnc010. mcc440.3gppnetw ork.org</a>																																																																																																																																					
5	IP電話			ip.ims.mnc010.m cc440.3gppnetwo rk.org																																																																																																																																					
2	RTP	1	IPバージョン	v4																																																																																																																																					
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																																																																																																					
		3	ポート番号	SDPで指定																																																																																																																																					
3	RTCP	1	IPバージョン	v4																																																																																																																																					
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																																																																																																					
		3	ポート番号	SDPで指定																																																																																																																																					
項番	プロトコル	パラメータ		備考																																																																																																																																					
1	SIP	1	IPバージョン	v4																																																																																																																																					
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																																																																																																					
		3	ポート番号	5060																																																																																																																																					
		4	Req-URIの SIP URI フォー マット	1	global-number- digits	+81A0CDEXXXXX																																																																																																																																			
				2	par	npdi																																																																																																																																			
				3	Hostport	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. .org																																																																																																																																			
				4	uri-parameter	user=phone																																																																																																																																			
		5	事業者識 別子	1	一般	ims.mnc010.mcc4 40.3gppnetwork. .org																																																																																																																																			
				2	衛星(陸上)	land.sl.ims.mnc 010.mcc440.3gp pnetwork.org																																																																																																																																			
				3	衛星(船舶)	sea.sl.ims.mnc0 10.mcc440.3gpp network.org																																																																																																																																			
4	IP電話			ip.ims.mnc010.m cc440.3gppnetw ork.org																																																																																																																																					
2	RTP	1	IPバージョン	v4																																																																																																																																					
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																																																																																																					
		3	ポート番号	SDPで指定																																																																																																																																					
3	RTCP	1	IPバージョン	v4																																																																																																																																					
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																																																																																																					
		3	ポート番号	SDPで指定																																																																																																																																					

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																																																																																												
技別 12- 1- 2、 技別 12- 1- 3	<p>表 2.1-2 SIPオプション項目設定条件 表 2.1-2の付表名はTTC標準JJ-90.30のものを用います。</p> <p>付表 i.4-1/JJ-90.30 IPバージョン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>IPv6</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(削除)</p> <p>付表 i.4-3/JJ-90.30 SIPメソッド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>MESSAGEメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>REFERメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>NOTIFYメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>SUBSCRIBEメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	IPv6	適用する	適用しない			適用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	MESSAGEメソッド	適用する	適用しない			適用しない	2	REFERメソッド	適用する	適用しない			適用しない	3	NOTIFYメソッド	適用する	適用しない			適用しない	4	SUBSCRIBEメソッド	適用する	適用しない			適用しない	<p>表 2.1-2 SIPオプション項目設定条件 表 2.1-2の付表名はTTC標準JJ-90.30のものを用います。</p> <p>付表 i.4-1/JJ-90.30 IPバージョン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>IPv6</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表 i.4-2/JJ-90.30 制御プレーンのトランスポート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>UDP</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・待ち受けポート番号： 5060 ・フラグメントパケット 対応</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>TCP</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表 i.4-3/JJ-90.30 SIPメソッド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>MESSAGEメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>REFERメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>NOTIFYメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>SUBSCRIBEメソッド</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>既存ダイアログ外 でのOPTIONS メソッドの利用</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	IPv6	適用する	適用しない			適用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	UDP	適用する	適用する ・待ち受けポート番号： 5060 ・フラグメントパケット 対応	2	TCP	適用する	適用しない			適用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	MESSAGEメソッド	適用する	適用しない			適用しない	2	REFERメソッド	適用する	適用しない			適用しない	3	NOTIFYメソッド	適用する	適用しない			適用しない	4	SUBSCRIBEメソッド	適用する	適用しない			適用しない	5	既存ダイアログ外 でのOPTIONS メソッドの利用	適用する	適用しない			適用しない
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																																																																											
1	IPv6	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																																																																											
1	MESSAGEメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
2	REFERメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
3	NOTIFYメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
4	SUBSCRIBEメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																																																																											
1	IPv6	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																																																																											
1	UDP	適用する	適用する ・待ち受けポート番号： 5060 ・フラグメントパケット 対応																																																																																																											
2	TCP	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																																																																											
1	MESSAGEメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
2	REFERメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
3	NOTIFYメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
4	SUBSCRIBEメソッド	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												
5	既存ダイアログ外 でのOPTIONS メソッドの利用	適用する	適用しない																																																																																																											
		適用しない																																																																																																												

## 接続約款新旧対照表

頁	新				旧					
技別 12- 1- 4	付表 i. 4-5/JJ-90.30 番号、ネーム、アドレス				付表 i. 4-5/JJ-90.30 番号、ネーム、アドレス					
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定		
	1	SIP URI	適用する	適用する ・Local numberの利用：利用しない ・受信を受け付ける hostport部のドメイン名：本別表の表2. 1-1を参照 ・利用するPSI：利用しない	1	SIP URI	適用する	適用する ・Local numberの利用：利用しない ・受信を受け付ける hostport部のドメイン名：本別表の表2. 1-1を参照 ・利用するPSI：利用しない		
	4	サブアドレス ("isub" tel URI パラメータ)	適用する	適用しない	2	tel URI	適用する	適用する ・Local numberの利用：利用しない ・Request-URIヘッダにおけるこのURIの適用：適用しない ・P-Asserted-IdentityヘッダにおけるこのURIの適用：適用する		
			適用しない							
	(略)	付表 i. 4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	3	local-number-digits の有効な受信桁数の登録	適用する	適用しない
							適用しない			
	(略)	付表 i. 4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	4	サブアドレス ("isub" tel URIパラ メータ)	適用する	適用しない
							適用しない			
	(略)	付表 i. 4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	SIPセッションタイマ (timer)	適用する	適用する ・更新間隔の制限：180～1800s <b>※当社は180sとする</b> ・全セッションへの適用：適用する
2							暫定レスポンスの信頼性 (100rel)	適用する	適用する ・全セッションへの適用：適用する	
(略)	付表 i. 4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	3	リソース管理のネゴシエーション (precondition)	適用する	適用する	
						適用しない				
(略)	付表 i. 4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	4	SIPダイアログの置換 (replaces)	適用する	適用しない	
						適用しない				
(略)	付表 i. 4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	5	端末能力の伝達 (pref)	適用する	適用しない	
						適用しない				

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																				
技別 12- 1- 5	(削除)	<p style="text-align: center;">付表 i. 4-8/JJ-90.30 発信エリア情報</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">00XY番号及び+81AB0形式番号以外が着信先番号の場合における発信エリア情報の設定</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	00XY番号及び+81AB0形式番号以外が着信先番号の場合における発信エリア情報の設定	適用する	適用しない	適用しない											
		項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																	
	1	00XY番号及び+81AB0形式番号以外が着信先番号の場合における発信エリア情報の設定	適用する	適用しない																		
			適用しない																			
	(削除)	<p style="text-align: center;">付表 i. 4-9/JJ-90.30 契約者番号</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">00XY番号及び+81AB0形式番号以外が着信先番号の場合における契約者番号の設定</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	00XY番号及び+81AB0形式番号以外が着信先番号の場合における契約者番号の設定	適用する	適用しない	適用しない											
		項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																	
1	00XY番号及び+81AB0形式番号以外が着信先番号の場合における契約者番号の設定	適用する	適用しない																			
		適用しない																				
(略)	<p style="text-align: center;">付表 i. 4-10/JJ-90.30 SDP行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>m=行</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・静的RTPペイロード番号：なし</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>b=行</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・b=行のタイプ： AS/RS/RR</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">b=RR/b=RSを用いたRTCP帯域指定</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用する</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>a=行</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・属性値：本別表の表2.1-3および表2.1-4を参照</td> </tr> </tbody> </table>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	m=行	適用する	適用する ・静的RTPペイロード番号：なし	2	b=行	適用する	適用する ・b=行のタイプ： AS/RS/RR	3	b=RR/b=RSを用いたRTCP帯域指定	適用する	適用する	適用しない	4	a=行	適用する	適用する ・属性値：本別表の表2.1-3および表2.1-4を参照
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																		
1	m=行	適用する	適用する ・静的RTPペイロード番号：なし																			
2	b=行	適用する	適用する ・b=行のタイプ： AS/RS/RR																			
3	b=RR/b=RSを用いたRTCP帯域指定	適用する	適用する																			
		適用しない																				
4	a=行	適用する	適用する ・属性値：本別表の表2.1-3および表2.1-4を参照																			
(略)	<p style="text-align: center;">付表 i. 4-10/JJ-90.30 SDP行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>m=行</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・静的RTPペイロード番号：なし</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>b=行</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・b=行のタイプ： AS/RS/RR</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">b=RR/b=RSを用いたRTCP帯域指定</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用する</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>a=行</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・属性値：本別表の表2.1-3および表2.1-4を参照</td> </tr> </tbody> </table>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	m=行	適用する	適用する ・静的RTPペイロード番号：なし	2	b=行	適用する	適用する ・b=行のタイプ： AS/RS/RR	3	b=RR/b=RSを用いたRTCP帯域指定	適用する	適用する	適用しない	4	a=行	適用する	適用する ・属性値：本別表の表2.1-3および表2.1-4を参照
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																		
1	m=行	適用する	適用する ・静的RTPペイロード番号：なし																			
2	b=行	適用する	適用する ・b=行のタイプ： AS/RS/RR																			
3	b=RR/b=RSを用いたRTCP帯域指定	適用する	適用する																			
		適用しない																				
4	a=行	適用する	適用する ・属性値：本別表の表2.1-3および表2.1-4を参照																			
(略)	(略)	(略)																				

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧		
技別 12- 1- 6	付表 i. 4-13/JJ-90.30 SIPメッセージボディ			
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定
	1	MIMEタイプ	適用する	適用する ・SDP (application/sdp) 以外の 利用するMIMEタイプ：なし
	(削除)			
	付表 i. 4-15/JJ-90.30 付加サービス			
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定
	3	呼出し保留 (HOLD)	適用する 適用しない	適用しない
	4	私設網トラヒック (P-Private- Network-Indication ヘッダ)	適用する 適用しない	適用しない
	付表 i. 4-13/JJ-90.30 SIPメッセージボディ			
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定
1	MIMEタイプ	適用する	適用する ・利用するMIMEタイプ： application/sdp ・必要な場合は適用するSIP メッセージボディMIMEの特 徴：マルチパートMIMEに対応	
付表 i. 4-14/JJ-90.30 ガイダンス/トーキ				
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	
1	アーリーメディアに よるリングバック トーン	適用する 適用しない	適用する	
付表 i. 4-15/JJ-90.30 付加サービス				
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	
1	着信転送サービス (CDIV)	適用する	適用する ・本別表の付表i. 3.1/JJ- 90.27 オプション項目一覧表 を参照	
2	コミュニケーション ウェイティング (CW)	適用する 適用しない	適用する	
3	呼出し保留 (HOLD)	適用する 適用しない	適用する	
4	私設網トラヒック (P-Private- Network-Indication ヘッダ)	適用する 適用しない	適用しない	

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																																												
技別 12- 1- 6	<p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>付表 i.4-17/JJ-90.30 帯域制御</p> <table border="1" data-bbox="156 749 1012 1125"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">トークンバケットサイズの個別指定</td> <td>適用する</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> <td>上限：1600bytes、下限：0byte</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">レート係数</td> <td>品質クラス毎にレート係数を規定する</td> <td>単一のレート係数を規定する</td> </tr> <tr> <td>単一のレート係数を規定する</td> <td>レート係数：80ms</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">コーデックに対応づけたトークンバケット速度</td> <td>適用する</td> <td>適用する</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> <td>Codecネゴシエーション時におけるAS値にて決定する</td> </tr> </tbody> </table>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	トークンバケットサイズの個別指定	適用する	適用する	適用しない	上限：1600bytes、下限：0byte	2	レート係数	品質クラス毎にレート係数を規定する	単一のレート係数を規定する	単一のレート係数を規定する	レート係数：80ms	3	コーデックに対応づけたトークンバケット速度	適用する	適用する	適用しない	Codecネゴシエーション時におけるAS値にて決定する	<p>付表 i.3.1/JJ-90.27 オプション項目一覧表</p> <table border="1" data-bbox="1039 204 1893 582"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>項目</th> <th>網間での利用条件 (JJ-90.27)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">181レスポンスによる呼転送通知機能</td> <td>利用する</td> <td rowspan="2">利用しない</td> </tr> <tr> <td>利用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">発網に対して転送起動網がレスポンスで転送履歴を通知する機能</td> <td>利用する</td> <td rowspan="2">利用しない</td> </tr> <tr> <td>利用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">Privacyヘッダ (Privacy: history) により転送履歴情報通知可/不可を指定する機能</td> <td>利用する</td> <td rowspan="2">利用しない</td> </tr> <tr> <td>利用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表 i.4-16/JJ-90.30 SIPメッセージ設定最大長 本オプション選択項目については標準規定通り</p> <p>付表 i.4-17/JJ-90.30 帯域制御</p> <table border="1" data-bbox="1039 749 1893 1086"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">トークンバケットサイズの個別指定</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">レート係数</td> <td>品質クラス毎にレート係数を規定する</td> <td rowspan="2">適用しない</td> </tr> <tr> <td>単一のレート係数を規定する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">コーデックに対応づけたトークンバケット速度</td> <td>適用する</td> <td rowspan="2">適用しない。</td> </tr> <tr> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	項番	項目	網間での利用条件 (JJ-90.27)	当社規定	1	181レスポンスによる呼転送通知機能	利用する	利用しない	利用しない	2	発網に対して転送起動網がレスポンスで転送履歴を通知する機能	利用する	利用しない	利用しない	3	Privacyヘッダ (Privacy: history) により転送履歴情報通知可/不可を指定する機能	利用する	利用しない	利用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	トークンバケットサイズの個別指定	適用する	適用しない	適用しない	2	レート係数	品質クラス毎にレート係数を規定する	適用しない	単一のレート係数を規定する	3	コーデックに対応づけたトークンバケット速度	適用する	適用しない。	適用しない
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																											
1	トークンバケットサイズの個別指定	適用する	適用する																																																											
		適用しない	上限：1600bytes、下限：0byte																																																											
2	レート係数	品質クラス毎にレート係数を規定する	単一のレート係数を規定する																																																											
		単一のレート係数を規定する	レート係数：80ms																																																											
3	コーデックに対応づけたトークンバケット速度	適用する	適用する																																																											
		適用しない	Codecネゴシエーション時におけるAS値にて決定する																																																											
項番	項目	網間での利用条件 (JJ-90.27)	当社規定																																																											
1	181レスポンスによる呼転送通知機能	利用する	利用しない																																																											
		利用しない																																																												
2	発網に対して転送起動網がレスポンスで転送履歴を通知する機能	利用する	利用しない																																																											
		利用しない																																																												
3	Privacyヘッダ (Privacy: history) により転送履歴情報通知可/不可を指定する機能	利用する	利用しない																																																											
		利用しない																																																												
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																											
1	トークンバケットサイズの個別指定	適用する	適用しない																																																											
		適用しない																																																												
2	レート係数	品質クラス毎にレート係数を規定する	適用しない																																																											
		単一のレート係数を規定する																																																												
3	コーデックに対応づけたトークンバケット速度	適用する	適用しない。																																																											
		適用しない																																																												



## 接続約款新旧対照表

頁	新				旧			
技別 12- 1- 6、 技別 12- 1- 7	付表 i. 4-18/JJ-90.30 最大同時接続数				付表 i. 4-18/JJ-90.30 最大同時接続数			
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定
	1	片方向管理での出SIPセッションの同時接続数制御	適用する	適用する ・出SIPセッションの最大同時接続数：当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定する。 ・網間における帯域確保方式は、帯域を共有しない方式を基本とする	1	片方向管理での出SIPセッションの同時接続数制御	適用する 適用しない	適用する ・出SIPセッションの最大同時接続数：当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定
	付表 i. 4-19/JJ-90.30 RTP/RTCPパケット断監視				付表 i. 4-19/JJ-90.30 RTP/RTCPパケット断監視			
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定
	1	片方向管理での出SIPセッションの同時接続数制御	適用する	適用する ・出SIPセッションの最大同時接続数：当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定する。 ・網間における帯域確保方式は、帯域を共有しない方式を基本とする	1	RTP/RTCPパケット断監視	適用する 適用しない	適用する ・通話中：RTP断監視 ・保留中：RTCP断監視 ・タイムは当社が指定
	付表 i. 4-20/JJ-90.30 障害検知/復旧検知				付表 i. 4-20/JJ-90.30 障害検知/復旧検知			
	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定
	1	障害検知時の迂回	適用する 適用しない	適用する ・INVITE送信後のタイムアウト、又は503受信で迂回とする	1	障害検知時の迂回	適用する 適用しない	適用する ・障害を検知した際、パケットを送出する側にて迂回経路を決定。 細目に渡るものについては当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定
	2	SIPレイヤにおける復旧検知方式	適用する 適用しない	適用する 復旧検知：PilotINVITEを利用する タイム：30sの固定タイム（503受信時のRetryAfterは意識しない）	2	復旧検知方式	OPTIONSを利用する復旧検知 Pilot INVITEを利用する復旧検知 保守者介在での復旧検知	適用しない 基本は本方式を利用 当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定
	3	InitialINVITEに対して503 (Service Unavailable) レスポンス返却後、復旧検知のOPTIONSリクエストを受信した際、当該対地からのINVITEリクエストを受付可能な場合にのみ200 (OK) レスポンスを返却する機能	適用する 適用しない	適用する				

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																																																																																
技別 12- 1- 8、 技別 12- 1- 11、 技別 12- 1- 12	<p>表2.1-3 付表 i.4-10/JJ-90.30 SDP行 項番4のa=行に係る規定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">属性情報 (a=行)パラメータ</th> <th>当社MGS→ 他事業者GS向けの Offer時の設定内容</th> <th>他事業者GS→ 当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定</th> </tr> <tr> <th>No</th> <th>Attribute</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>cat</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>keywds</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>tool</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ptime</td> <td>20</td> <td>無視する ※20として扱う</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>maxptime</td> <td>20</td> <td>無視する ※20として扱う</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6</td> <td rowspan="3">rtmpmap</td> <td>encoding name</td> <td>"AMR" or "AMR-WB" or "EVS" or "telephone-event" [2回目以降]</td> </tr> <tr> <td>clock rate</td> <td>8000 or 16000 同一ペイロードタイプ番号で 前回と異なるCodec指定は無 効</td> </tr> <tr> <td>encoding parameters</td> <td>1 or 省略 1 or 省略以外非許容</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>recvonly</td> <td>設定する※1</td> <td>非許容</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>maxprate</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>3. ENUM適用規定</p> <p>ENUM仕様は「TTC標準 キャリアENUMの相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TTC標準 JJ-90.31 第5.0版 キャリアENUMの相互接続共通インタフェース</li> <li>• TTC JT-E164 Supplement2 国際公衆電気通信番号計画補足文書 2: 番号ポータビリティ</li> </ul> <p>(略)</p> <p>4. DNS適用規定</p> <p>DNS仕様は「TTC標準 SIPドメイン解決のためのDNS相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TTC標準 JJ-90.32 第4.0版 SIPドメイン解決のためのDNS相互接続共通インタフェース</li> </ul> <p>(略)</p>	属性情報 (a=行)パラメータ		当社MGS→ 他事業者GS向けの Offer時の設定内容	他事業者GS→ 当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定	No	Attribute			1	cat	設定しない	無視する	2	keywds	設定しない	無視する	3	tool	設定しない	無視する	4	ptime	20	無視する ※20として扱う	5	maxptime	20	無視する ※20として扱う	6	rtmpmap	encoding name	"AMR" or "AMR-WB" or "EVS" or "telephone-event" [2回目以降]	clock rate	8000 or 16000 同一ペイロードタイプ番号で 前回と異なるCodec指定は無 効	encoding parameters	1 or 省略 1 or 省略以外非許容	7	recvonly	設定する※1	非許容	(略)	(略)	(略)	(略)	22	maxprate	設定しない	無視する	<p>表2.1-3 付表 i.4-10/JJ-90.30 SDP行 項番4のa=行に係る規定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">属性情報 (a=行)パラメータ</th> <th>当社MGS→ 他事業者GS向けの Offer時の設定内容</th> <th>他事業者GS→ 当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定</th> </tr> <tr> <th>No</th> <th>Attribute</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>cat</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>keywds</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>tool</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ptime</td> <td>20</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>maxptime</td> <td>20</td> <td>無視する</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6</td> <td rowspan="3">rtmpmap</td> <td>encoding name</td> <td>"AMR" or "AMR-WB" or "EVS" or "telephone-event"</td> </tr> <tr> <td>clock rate</td> <td>8000 or 16000</td> </tr> <tr> <td>encoding parameters</td> <td>1 or 省略 1 or 省略以外非許容</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>recvonly</td> <td>設定する※1</td> <td>非許容</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>maxprate</td> <td>設定しない</td> <td>無視する</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>3. ENUM適用規定</p> <p>ENUM仕様は「TTC標準 キャリアENUMの相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TTC標準 JJ-90.31 第4.0版 キャリアENUMの相互接続共通インタフェース</li> <li>• TTC JT-E164 Supplement2 国際公衆電気通信番号計画補足文書 2: 番号ポータビリティ</li> </ul> <p>(略)</p> <p>4. DNS適用規定</p> <p>DNS仕様は「TTC標準 SIPドメイン解決のためのDNS相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TTC標準 JJ-90.32 第1.0版 SIPドメイン解決のためのDNS相互接続共通インタフェース</li> </ul> <p>(略)</p>	属性情報 (a=行)パラメータ		当社MGS→ 他事業者GS向けの Offer時の設定内容	他事業者GS→ 当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定	No	Attribute			1	cat	設定しない	無視する	2	keywds	設定しない	無視する	3	tool	設定しない	無視する	4	ptime	20	無視する	5	maxptime	20	無視する	6	rtmpmap	encoding name	"AMR" or "AMR-WB" or "EVS" or "telephone-event"	clock rate	8000 or 16000	encoding parameters	1 or 省略 1 or 省略以外非許容	7	recvonly	設定する※1	非許容	(略)	(略)	(略)	(略)	22	maxprate	設定しない	無視する
属性情報 (a=行)パラメータ		当社MGS→ 他事業者GS向けの Offer時の設定内容	他事業者GS→ 当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定																																																																																															
No	Attribute																																																																																																	
1	cat	設定しない	無視する																																																																																															
2	keywds	設定しない	無視する																																																																																															
3	tool	設定しない	無視する																																																																																															
4	ptime	20	無視する ※20として扱う																																																																																															
5	maxptime	20	無視する ※20として扱う																																																																																															
6	rtmpmap	encoding name	"AMR" or "AMR-WB" or "EVS" or "telephone-event" [2回目以降]																																																																																															
		clock rate	8000 or 16000 同一ペイロードタイプ番号で 前回と異なるCodec指定は無 効																																																																																															
		encoding parameters	1 or 省略 1 or 省略以外非許容																																																																																															
7	recvonly	設定する※1	非許容																																																																																															
(略)	(略)	(略)	(略)																																																																																															
22	maxprate	設定しない	無視する																																																																																															
属性情報 (a=行)パラメータ		当社MGS→ 他事業者GS向けの Offer時の設定内容	他事業者GS→ 当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定																																																																																															
No	Attribute																																																																																																	
1	cat	設定しない	無視する																																																																																															
2	keywds	設定しない	無視する																																																																																															
3	tool	設定しない	無視する																																																																																															
4	ptime	20	無視する																																																																																															
5	maxptime	20	無視する																																																																																															
6	rtmpmap	encoding name	"AMR" or "AMR-WB" or "EVS" or "telephone-event"																																																																																															
		clock rate	8000 or 16000																																																																																															
		encoding parameters	1 or 省略 1 or 省略以外非許容																																																																																															
7	recvonly	設定する※1	非許容																																																																																															
(略)	(略)	(略)	(略)																																																																																															
22	maxprate	設定しない	無視する																																																																																															

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧								
技別 13- 1- 1	<p><u>技術的条件集別表13 対地域/国際事業者 (IP) インタフェース仕様</u> <u>技術的条件集別表13-1 制御プロトコル仕様</u></p> <p><u>1. はじめに</u> <u>本別表は、対地域/国際事業者 (IP) インタフェースで使用される制御信号プロトコルに関する仕様を規定する。</u></p> <p><u>1.1 適用規定</u> <u>本書で定義する技術仕様の範囲を次の通りとする。MGSとGS間を使用する SIP、ENUM および DNS は、TTC 標準に準拠します。</u></p> <p><u>1.2 伝送装置間インタフェース仕様</u> <u>表1.2-1 当社と接続可能な物理インタフェース、ケーブル種別</u></p> <table border="1" data-bbox="156 644 1012 843"> <thead> <tr> <th data-bbox="156 644 710 694"><u>対応インタフェース種別 (仕様)</u></th> <th data-bbox="710 644 1012 694"><u>光ケーブル種別</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="156 694 710 743"><u>10G BASE-LR (IEEE 802.3ae 準拠)</u></td> <td data-bbox="710 694 1012 743"><u>シングルモードケーブル</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="156 743 710 793"><u>10G BASE-ER (IEEE 802.3ae 準拠)</u></td> <td data-bbox="710 743 1012 793"><u>シングルモードケーブル</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="156 793 710 843"><u>1000BASE-LX (IEEE 802.3z 準拠)</u></td> <td data-bbox="710 793 1012 843"><u>シングルモードケーブル</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>2. SIP適用規定</u> <u>SIP仕様は「TTC標準 IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>・TTC標準 JJ-90.30 第10.0版 IMS事業者網間の相互接続共通インタフェース</u></li> <li><u>・TTC標準 JJ-90.28 第4.1版 緊急通報呼に関する NNI 仕様</u></li> <li><u>・TTC標準 JJ-90.27 第9.0版 着信転送サービス (CDIV) に関するNNI仕様</u></li> </ul>	<u>対応インタフェース種別 (仕様)</u>	<u>光ケーブル種別</u>	<u>10G BASE-LR (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>	<u>10G BASE-ER (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>	<u>1000BASE-LX (IEEE 802.3z 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>	
<u>対応インタフェース種別 (仕様)</u>	<u>光ケーブル種別</u>									
<u>10G BASE-LR (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>									
<u>10G BASE-ER (IEEE 802.3ae 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>									
<u>1000BASE-LX (IEEE 802.3z 準拠)</u>	<u>シングルモードケーブル</u>									

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																																						
技別 13- 1- 1	<p><u>2.1 SIP設定条件</u></p> <p><u>当社のパラメータ設定条件は表2.1-1に示します。TTC標準 JJ-90.30に示されるオプション項目は事業者ごとに選択できるものですが、当社網としての規定、および直接協定事業者の網に期待する規定を表2.1-2に示します。</u></p> <p><u>表2.1-2内付表i.4-10/JJ-90.30 SDP行の項番4に示されるa=行の規定について、表2.1-3に示します。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 2.1-1 SIP基本設定条件</u></p> <table border="1" data-bbox="162 504 996 1286"> <thead> <tr> <th data-bbox="162 504 204 575">項番</th> <th data-bbox="204 504 295 575">プロトコル</th> <th colspan="2" data-bbox="295 504 755 575">パラメータ</th> <th data-bbox="755 504 996 575">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="162 575 204 606">1</td> <td data-bbox="204 575 295 606">SIP</td> <td data-bbox="295 575 382 606">1</td> <td data-bbox="382 575 755 606">IPバージョン</td> <td data-bbox="755 575 996 606">v4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="295 606 382 638">2</td> <td data-bbox="382 606 755 638">トランスポートプロトコル</td> <td data-bbox="755 606 996 638">UDP</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="295 638 382 669">3</td> <td data-bbox="382 638 755 669">ポート番号</td> <td data-bbox="755 638 996 669">5060</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="295 669 382 863">4</td> <td data-bbox="382 669 755 863">Req-URI の SIP URI フォーマット</td> <td data-bbox="755 669 996 863"> <table border="1" data-bbox="504 669 755 863"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 669 546 701">1</th> <th data-bbox="546 669 755 701">global-number-digits</th> <th data-bbox="755 669 996 701">+81A0CDEXXXXX</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 701 546 732">2</td> <td data-bbox="546 701 755 732">par</td> <td data-bbox="755 701 996 732">npdi</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 732 546 763">3</td> <td data-bbox="546 732 755 763">Hostport</td> <td data-bbox="755 732 996 763">ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 763 546 863">4</td> <td data-bbox="546 763 755 863">uri-parameter</td> <td data-bbox="755 763 996 863">user=phone</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="295 863 382 1286">5</td> <td data-bbox="382 863 755 1286">事業者識別子</td> <td data-bbox="755 863 996 1286"> <table border="1" data-bbox="504 863 755 1286"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 863 546 895">1</th> <th data-bbox="546 863 755 895">一般</th> <th data-bbox="755 863 996 895">3GPP-E-UTRAN-FDD.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 895 546 1075">2</td> <td data-bbox="546 895 755 1075">衛星(陸上)</td> <td data-bbox="755 895 996 1075">SAT-Type1.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1075 546 1183">3</td> <td data-bbox="546 1075 755 1183">衛星(船舶)</td> <td data-bbox="755 1075 996 1183">SAT-Type2.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1183 546 1286">4</td> <td data-bbox="546 1183 755 1286">衛星(新規)</td> <td data-bbox="755 1183 996 1286">SAT-Type3.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	項番	プロトコル	パラメータ		備考	1	SIP	1	IPバージョン	v4			2	トランスポートプロトコル	UDP			3	ポート番号	5060			4	Req-URI の SIP URI フォーマット	<table border="1" data-bbox="504 669 755 863"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 669 546 701">1</th> <th data-bbox="546 669 755 701">global-number-digits</th> <th data-bbox="755 669 996 701">+81A0CDEXXXXX</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 701 546 732">2</td> <td data-bbox="546 701 755 732">par</td> <td data-bbox="755 701 996 732">npdi</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 732 546 763">3</td> <td data-bbox="546 732 755 763">Hostport</td> <td data-bbox="755 732 996 763">ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 763 546 863">4</td> <td data-bbox="546 763 755 863">uri-parameter</td> <td data-bbox="755 763 996 863">user=phone</td> </tr> </tbody> </table>	1	global-number-digits	+81A0CDEXXXXX	2	par	npdi	3	Hostport	ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	4	uri-parameter	user=phone			5	事業者識別子	<table border="1" data-bbox="504 863 755 1286"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 863 546 895">1</th> <th data-bbox="546 863 755 895">一般</th> <th data-bbox="755 863 996 895">3GPP-E-UTRAN-FDD.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 895 546 1075">2</td> <td data-bbox="546 895 755 1075">衛星(陸上)</td> <td data-bbox="755 895 996 1075">SAT-Type1.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1075 546 1183">3</td> <td data-bbox="546 1075 755 1183">衛星(船舶)</td> <td data-bbox="755 1075 996 1183">SAT-Type2.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1183 546 1286">4</td> <td data-bbox="546 1183 755 1286">衛星(新規)</td> <td data-bbox="755 1183 996 1286">SAT-Type3.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> </tbody> </table>	1	一般	3GPP-E-UTRAN-FDD.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	2	衛星(陸上)	SAT-Type1.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	3	衛星(船舶)	SAT-Type2.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	4	衛星(新規)	SAT-Type3.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	
項番	プロトコル	パラメータ		備考																																																				
1	SIP	1	IPバージョン	v4																																																				
		2	トランスポートプロトコル	UDP																																																				
		3	ポート番号	5060																																																				
		4	Req-URI の SIP URI フォーマット	<table border="1" data-bbox="504 669 755 863"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 669 546 701">1</th> <th data-bbox="546 669 755 701">global-number-digits</th> <th data-bbox="755 669 996 701">+81A0CDEXXXXX</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 701 546 732">2</td> <td data-bbox="546 701 755 732">par</td> <td data-bbox="755 701 996 732">npdi</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 732 546 763">3</td> <td data-bbox="546 732 755 763">Hostport</td> <td data-bbox="755 732 996 763">ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 763 546 863">4</td> <td data-bbox="546 763 755 863">uri-parameter</td> <td data-bbox="755 763 996 863">user=phone</td> </tr> </tbody> </table>	1	global-number-digits	+81A0CDEXXXXX	2	par	npdi	3	Hostport	ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	4	uri-parameter	user=phone																																								
1	global-number-digits	+81A0CDEXXXXX																																																						
2	par	npdi																																																						
3	Hostport	ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org																																																						
4	uri-parameter	user=phone																																																						
		5	事業者識別子	<table border="1" data-bbox="504 863 755 1286"> <thead> <tr> <th data-bbox="504 863 546 895">1</th> <th data-bbox="546 863 755 895">一般</th> <th data-bbox="755 863 996 895">3GPP-E-UTRAN-FDD.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="504 895 546 1075">2</td> <td data-bbox="546 895 755 1075">衛星(陸上)</td> <td data-bbox="755 895 996 1075">SAT-Type1.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1075 546 1183">3</td> <td data-bbox="546 1075 755 1183">衛星(船舶)</td> <td data-bbox="755 1075 996 1183">SAT-Type2.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> <tr> <td data-bbox="504 1183 546 1286">4</td> <td data-bbox="546 1183 755 1286">衛星(新規)</td> <td data-bbox="755 1183 996 1286">SAT-Type3.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org</td> </tr> </tbody> </table>	1	一般	3GPP-E-UTRAN-FDD.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	2	衛星(陸上)	SAT-Type1.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	3	衛星(船舶)	SAT-Type2.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org	4	衛星(新規)	SAT-Type3.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org																																								
1	一般	3GPP-E-UTRAN-FDD.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org																																																						
2	衛星(陸上)	SAT-Type1.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org																																																						
3	衛星(船舶)	SAT-Type2.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org																																																						
4	衛星(新規)	SAT-Type3.ims.mnc010.mcc440.3gppnetwork.org																																																						

## 接続約款新旧対照表

頁	新				旧																												
技別 13- 1- 2				5	IP電話 050-IP- Phone.ims.mnc010.mcc 440.3gppnetwork.org																												
	2	RTP	1	IPバージョン	v4																												
			2	トランスポートプロトコル	UDP																												
			3	ポート番号	SDPで指定																												
	3	RTCP	1	IPバージョン	v4																												
			2	トランスポートプロトコル	UDP																												
			3	ポート番号	SDPで指定																												
<p>表 2.1-2 SIPオプション項目設定条件  表 2.1-2の付表名はTTC標準JJ-90.30のものを用います。</p> <p>付表 i.4-1/JJ-90.30 IPバージョン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>IPv6</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表 i.4-3/JJ-90.30 SIPメソッド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>MESSAGEメソッド</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>REFERメソッド</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>NOTIFYメソッド</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>SUBSCRIBEメソッド</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table>						項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	IPv6	適用する 適用しない	適用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	MESSAGEメソッド	適用する 適用しない	適用しない	2	REFERメソッド	適用する 適用しない	適用しない	3	NOTIFYメソッド	適用する 適用しない	適用しない	4	SUBSCRIBEメソッド	適用する 適用しない	適用しない
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																														
1	IPv6	適用する 適用しない	適用しない																														
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																														
1	MESSAGEメソッド	適用する 適用しない	適用しない																														
2	REFERメソッド	適用する 適用しない	適用しない																														
3	NOTIFYメソッド	適用する 適用しない	適用しない																														
4	SUBSCRIBEメソッド	適用する 適用しない	適用しない																														

## 接続約款新旧対照表

頁	新				旧
技別 13- 1- 3	<u>付表 i.4-4/JJ-90.30 キャリアENUMインタフェース</u>				
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>	<b>当社規定</b>	
	1	キャリアENUMインタフェース	適用する	適用する ・ENUMクエリを受け付けるIPアドレス/ポート番号：当社が指定 ・NAPTRリソースレコードのORDER/PREFERENCEフィールドの設定値：本別表の表3.1-1を参照	
	2	NAPTRリソースレコードの取得に失敗した場合の番号取得事業者のIMS網への接続	適用する	適用しない	
			適用しない		
	<u>付表 i.4-5/JJ-90.30 番号、ネーム、アドレス</u>				
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>	<b>当社規定</b>	
	1	SIP URI	適用する	適用する ・Local numberの利用：利用しない ・受信を受け付けるhostport部のドメイン名：本別表の表2.1-1を参照 ・利用するPSI：利用しない	
	4	サブアドレス _("isub" tel URIパラメータ)	適用する	適用しない	
			適用しない		
<u>付表 i.4-6/JJ-90.30 着側IBCF選択方式</u>					
<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>	<b>当社規定</b>		
1	着側IMS網におけるSIPドメイン解決のための事業者間DNSインタフェースの提供	適用する	適用する ・各パラメータ：本別表の表4.1-1を参照 ・発側IMS網が全DNSサーバから正常な応答が得られない場合の接続条件：呼損とする		
		適用しない			

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧	
技別 13- 1- 4	<u>付表 i.4-7/JJ-90.30 SIPオプションタグ</u>		
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>
	1	SIPセッションタイ マ (timer)	適用する
	2	暫定レスポンスの信 頼性 (100rel)	適用する
	3	リソース管理のネゴ シエーション (precondition)	適用する
			適用しない
	4	SIPダイアログの置 換 (replaces)	適用する
			適用しない
	5	端末能力の伝達 (pref)	適用する
			適用しない
	<u>付表 i.4-10/JJ-90.30 SDP行</u>		
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>
	1	m=行	適用する
	2	b=行	適用する
3	b=RR/b=RSを用いた RTCP帯域指定	適用する	
		適用しない	
4	a=行	適用する	
		当社規定	
		適用する ・更新間隔の制限：180 ～1800s ※当社は180sとする ・全セッションへの適 用：適用する	
		適用する ・全セッションへの適 用：適用する	
		適用しない	
		適用しない	
		適用しない	
		適用する ・静的RTPペイロード番 号： 0(PCMU)を利用す る	
		適用する ・b=行のタイプ：使用 しない	
		適用しない	
		適用する ・属性値：“PCMU”、 “telephone-event”を利用 する。	

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																																																												
技別 13- 1- 5	<p><u>表 i.4-11/JJ-90.30 ユーザプレーンのトランスポート、メディア、コーデック</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>音声メディア (m=audio)</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・音声コーデック名： G.711ulaw/TelephoneEvent を利用する</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>映像メディア (m=video)</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>他のメディア</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>RTP/AVPF</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>TCP</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>他のユーザプレーンプロトコル</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>付表 i.4-12/JJ-90.30 メディア変更</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>確立済み音声メディア (m=audio) のコーデック変更</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない -</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>確立済み映像メディア (m=video) のコーデック変更</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>付表 i.4-13/JJ-90.30 SIPメッセージボディ</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>MIMEタイプ</td> <td>適用する</td> <td>適用する ・SDP (application/sdp) 以外の利用するMIMEタイプ： なし</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>付表 i.4-15/JJ-90.30 付加サービス</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>オプション項目</th> <th>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>呼出し保留 (HOLD)</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>私設網トラヒック (P-Private-Network-Indicationヘッダ)</td> <td>適用する 適用しない</td> <td>適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	音声メディア (m=audio)	適用する	適用する ・音声コーデック名： G.711ulaw/TelephoneEvent を利用する	2	映像メディア (m=video)	適用する 適用しない	適用しない	3	他のメディア	適用する 適用しない	適用しない	4	RTP/AVPF	適用する 適用しない	適用しない	5	TCP	適用する 適用しない	適用しない	6	他のユーザプレーンプロトコル	適用する 適用しない	適用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	確立済み音声メディア (m=audio) のコーデック変更	適用する 適用しない	適用しない -	2	確立済み映像メディア (m=video) のコーデック変更	適用する 適用しない	適用しない	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	1	MIMEタイプ	適用する	適用する ・SDP (application/sdp) 以外の利用するMIMEタイプ： なし	項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定	3	呼出し保留 (HOLD)	適用する 適用しない	適用しない	4	私設網トラヒック (P-Private-Network-Indicationヘッダ)	適用する 適用しない	適用しない	
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																											
1	音声メディア (m=audio)	適用する	適用する ・音声コーデック名： G.711ulaw/TelephoneEvent を利用する																																																											
2	映像メディア (m=video)	適用する 適用しない	適用しない																																																											
3	他のメディア	適用する 適用しない	適用しない																																																											
4	RTP/AVPF	適用する 適用しない	適用しない																																																											
5	TCP	適用する 適用しない	適用しない																																																											
6	他のユーザプレーンプロトコル	適用する 適用しない	適用しない																																																											
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																											
1	確立済み音声メディア (m=audio) のコーデック変更	適用する 適用しない	適用しない -																																																											
2	確立済み映像メディア (m=video) のコーデック変更	適用する 適用しない	適用しない																																																											
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																											
1	MIMEタイプ	適用する	適用する ・SDP (application/sdp) 以外の利用するMIMEタイプ： なし																																																											
項番	オプション項目	II-NNIでの適用 (JJ-90.30)	当社規定																																																											
3	呼出し保留 (HOLD)	適用する 適用しない	適用しない																																																											
4	私設網トラヒック (P-Private-Network-Indicationヘッダ)	適用する 適用しない	適用しない																																																											



## 接続約款新旧対照表

頁	新				旧
技別 13- 1- 6	<u>付表 i. 4-17/JJ-90.30 帯域制御</u>				
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>	<b>当社規定</b>	
	1	トークンバケットサイ ズの個別指定	適用する	適用する 上限：1600bytes、下限： 0byte ※TTC JT-Y1221 a.3より 利用Codecにおいては 1500byteが設定されるこ とから、実質本設定の影響 はない	
			適用しない		
	2	レート係数	品質クラス毎に レート係数を 規定する	単一レート係数を規定する レート係数：80ms	
			単一のレート係 数を規定する		
	3	コーデックに対応づけ たトークンバケット速 度	適用する	適用する TTC JT-Y1221 a.3を踏まえ 105kbpsとする	
			適用しない		
	<u>付表 i. 4-18/JJ-90.30 最大同時接続数</u>				
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>	<b>当社規定</b>	
1	片方向管理での出SIP セッションの同時接続 数制御	適用する	適用する ・出SIPセッションの最大 同時接続数：当社と直接 協定事業者間で別途協議 の上、決定する ・網間における帯域確保 方式は、帯域を共有しな い方式を基本とする		
<u>付表 i. 4-19/JJ-90.30 RTP/RTCPパケット断監視</u>					
<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>	<b>当社規定</b>		
1	RTP/RTCPパケット断 監視	適用する	適用する 基本はRTP断監視 ただし、対向事業者より 保留を示す方向属性変更 付きのSDPオファーが あった際にはRTCP監視 に切り替える		
		適用しない			

## 接続約款新旧対照表

頁	新				旧			
技別 13- 1- 7	<u>付表 i. 4-20/JJ-90.30 障害検知/復旧検知</u>							
	<b>項番</b>	<b>オプション項目</b>	<b>II-NNIでの適用 (JJ-90.30)</b>		<b>当社規定</b>			
	1	障害検知時の迂回	適用する		適用する ・ INVITE送信後のタイムアウト、又は503受信で迂回とする			
			適用しない					
	2	SIPレイヤにおける復旧検知方式	適用する		適用する 復旧検知：PilotINVITEを利用する タイマ：30sの固定タイマ（503受信時のRetryAfterは意識しない）			
			適用しない					
	3	<u>InitialINVITEに対して503 (Service Unavailable) レスポンス返却後、復旧検知のOPTIONSリクエストを受信した際、当該対地からのINVITEリクエストを受付可能な場合にのみ200 (OK) レスポンスを返却する機能</u>	適用する		適用する			
			適用しない					

## 接続約款新旧対照表

頁	新			旧	
技別 13- 1- 8	<u>表2.1-3 付表 i. 4-10/JJ-90.30 SDP行 項番4のa=行に係る規定</u>				
	属性情報(a=行)パラメータ		当社MGS→	他事業者GS→	
	No	Attribute	他事業者GS向けの Offer時の設定内容	当社MGS向けの Offer設定受け入れ判定	
	1	cat	設定しない	無視する	
	2	keywds	設定しない	無視する	
	3	tool	設定しない	無視する	
	4	ptime	20	無視する※20として扱う	
	5	maxptime	20	無視する※20として扱う	
	6	rtptime	encoding name	“PCMU” or “telephone-event”	“PCMU”は必須 サポートコーデック以外 は非許容 [2回目以降] 同一ペイロードタイプ番 号で前回と異なるCodec 指定は無効
			clock rate	8000	
			encoding parameters	1 or 省略	
	7	recvonly	設定する※1	非許容	
	8	sendrecv	設定する	許容する	
	9	sendonly	設定しない	許容する※1	
	10	inactive	設定する※1	許容する※1	
	11	orient	設定しない	無視する	
	12	type	設定しない	無視する	
	13	charset	設定しない	無視する	
	14	sdplang	設定しない	無視する	
	15	lang	設定しない	無視する	
	16	framerate	設定しない	無視する	
	17	quality	設定しない	無視する	
	18	fmtp	設定しない	無視する	
	19	curr	設定しない	” 無視する	
20	des	” 設定しない	” 無視する		
21	conf	設定しない	” 無視する		
22	maxprate	設定しない	無視する		

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧															
技別 13- 1- 9	<p><u>3. ENUM適用規定</u> ENUM仕様は「TTC標準 キャリアENUMの相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TTC標準 JJ-90.31 第5.0版 キャリアENUMの相互接続共通インタフェース</li> <li>・TTC JT-E164 Supplement2 国際公衆電気通信番号計画補足文書2：番号ポータビリティ</li> </ul> <p><u>3.1 ENUM設定条件</u> TTC標準 JJ-90.31に示されるオプション項目は事業者ごとに選択できるものですが、当社網としての規定、および直接協定事業者の網に期待する規定を表3.1-1に示します。</p> <p style="text-align: center;">表3.1-1 ENUMオプション項目設定条件</p> <table border="1" data-bbox="156 743 1016 1125"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>JJ-90.31内参照項</th> <th>当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4.事業者間インタフェース 4.1.レイヤ3</td> <td>ENUMサーバのIPアドレスリスト： 当社が指定</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4.事業者間インタフェース 4.2.レイヤ4</td> <td>ENUMクエリ待ち受けポート番号：53</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4.事業者間インタフェース 4.3.ENUM 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.アンサ 4.3.3.2.1.ORDERフィールド</td> <td>複数のNAPTRリソースレコードはない なおORDER値は100</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4.事業者間インタフェース 4.3.ENUM 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.アンサ 4.3.3.2.2.PREFERENCEフィールド</td> <td>複数のNAPTRリソースレコードはない なおPREFERENCE値は100</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>3.2 ENUMのその他の規定について</u> 「E2U+pstn:sip」を優先とするNAPTRリソースレコードを含む回答部を返答された場合、当該呼は第2章第1節対地域/国際/選択中継事業者インタフェースに従い接続します。 当社のENUMクライアントはEDNS0非対応のため、QueryにOPT疑似リソースレコードは付与されません。</p>	項番	JJ-90.31内参照項	当社規定	1	4.事業者間インタフェース 4.1.レイヤ3	ENUMサーバのIPアドレスリスト： 当社が指定	2	4.事業者間インタフェース 4.2.レイヤ4	ENUMクエリ待ち受けポート番号：53	3	4.事業者間インタフェース 4.3.ENUM 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.アンサ 4.3.3.2.1.ORDERフィールド	複数のNAPTRリソースレコードはない なおORDER値は100	4	4.事業者間インタフェース 4.3.ENUM 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.アンサ 4.3.3.2.2.PREFERENCEフィールド	複数のNAPTRリソースレコードはない なおPREFERENCE値は100	
項番	JJ-90.31内参照項	当社規定															
1	4.事業者間インタフェース 4.1.レイヤ3	ENUMサーバのIPアドレスリスト： 当社が指定															
2	4.事業者間インタフェース 4.2.レイヤ4	ENUMクエリ待ち受けポート番号：53															
3	4.事業者間インタフェース 4.3.ENUM 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.アンサ 4.3.3.2.1.ORDERフィールド	複数のNAPTRリソースレコードはない なおORDER値は100															
4	4.事業者間インタフェース 4.3.ENUM 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.アンサ 4.3.3.2.2.PREFERENCEフィールド	複数のNAPTRリソースレコードはない なおPREFERENCE値は100															

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																								
技別 13- 1- 10	<p><u>4. DNS適用規定</u></p> <p><u>DNS仕様は「TTC標準 SIPドメイン解決のためのDNS相互接続共通インタフェース」に準拠します。以下に示すTTC標準をベースドキュメントとし参照します。</u></p> <p>・TTC標準 JJ-90.32 第4.0版 SIPドメイン解決のためのDNS相互接続共通インタフェース</p> <p><u>4.1 DNS設定条件</u></p> <p><u>TTC標準 JJ-90.32に示されるオプション項目は事業者ごとに選択できるものであるが、当社網としての規定、および直接協定事業者の網に期待する規定を表4.1-1に示します。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表4.1-1 DNS設定条件</u></p> <table border="1" data-bbox="150 658 1016 1339"> <thead> <tr> <th data-bbox="150 658 233 686">項番</th> <th data-bbox="233 658 579 686">事業者間協議事項</th> <th data-bbox="579 658 1016 686">当社規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="150 686 233 761">1</td> <td data-bbox="233 686 579 761">3.アーキテクチャ 3.1.事業者間DNSのアーキテクチャ</td> <td data-bbox="579 686 1016 761">・DNSサーバのIPアドレスリスト：当社が指定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 761 233 835">2</td> <td data-bbox="233 761 579 835">3.アーキテクチャ 3.3.接続先IBCFの選択 3.3.3.STEP3:A/AAAAレコード</td> <td data-bbox="579 761 1016 835">・Aレコード：トップレコード選択 ・AAAAレコード：非対応</td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 835 233 886">3</td> <td data-bbox="233 835 579 886">4.事業者間インタフェース仕様 4.2.レイヤ4</td> <td data-bbox="579 835 1016 886">・DNSクエリの待ち受けポート番号：53</td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 886 233 1018">4</td> <td data-bbox="233 886 579 1018">4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.DNSアンサ</td> <td data-bbox="579 886 1016 1018">・NAPTRリソースレコードのTTL値：1800s</td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 1018 233 1149">5</td> <td data-bbox="233 1018 579 1149">4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.4.SRVリソースレコード 4.3.4.2.DNSアンサ</td> <td data-bbox="579 1018 1016 1149">・SRVリソースレコードのTTP値：1800s ・最大SRVレコード数：32</td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 1149 233 1243">6</td> <td data-bbox="233 1149 579 1243">4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.5.Aレコード</td> <td data-bbox="579 1149 1016 1243">・AレコードのTTL値：1s</td> </tr> <tr> <td data-bbox="150 1243 233 1339">7</td> <td data-bbox="233 1243 579 1339">4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.6.AAAAレコード</td> <td data-bbox="579 1243 1016 1339">非対応</td> </tr> </tbody> </table>	項番	事業者間協議事項	当社規定	1	3.アーキテクチャ 3.1.事業者間DNSのアーキテクチャ	・DNSサーバのIPアドレスリスト：当社が指定	2	3.アーキテクチャ 3.3.接続先IBCFの選択 3.3.3.STEP3:A/AAAAレコード	・Aレコード：トップレコード選択 ・AAAAレコード：非対応	3	4.事業者間インタフェース仕様 4.2.レイヤ4	・DNSクエリの待ち受けポート番号：53	4	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.DNSアンサ	・NAPTRリソースレコードのTTL値：1800s	5	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.4.SRVリソースレコード 4.3.4.2.DNSアンサ	・SRVリソースレコードのTTP値：1800s ・最大SRVレコード数：32	6	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.5.Aレコード	・AレコードのTTL値：1s	7	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.6.AAAAレコード	非対応	
項番	事業者間協議事項	当社規定																								
1	3.アーキテクチャ 3.1.事業者間DNSのアーキテクチャ	・DNSサーバのIPアドレスリスト：当社が指定																								
2	3.アーキテクチャ 3.3.接続先IBCFの選択 3.3.3.STEP3:A/AAAAレコード	・Aレコード：トップレコード選択 ・AAAAレコード：非対応																								
3	4.事業者間インタフェース仕様 4.2.レイヤ4	・DNSクエリの待ち受けポート番号：53																								
4	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.3.NAPTRリソースレコード 4.3.3.2.DNSアンサ	・NAPTRリソースレコードのTTL値：1800s																								
5	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.4.SRVリソースレコード 4.3.4.2.DNSアンサ	・SRVリソースレコードのTTP値：1800s ・最大SRVレコード数：32																								
6	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.5.Aレコード	・AレコードのTTL値：1s																								
7	4.事業者間インタフェース仕様 4.3.DNS 4.3.6.AAAAレコード	非対応																								

## 接続約款新旧対照表

頁	新	旧																														
技別 13- 2- 1	<p><u>MGSとGS間の対地域/国際事業者（IP）インタフェースで使用される制御信号プロトコルに関するシーケンスはTTC標準 JJ-90.30に準拠いたします。</u></p> <p><u>当社網としての規定、および直接協定事業者の網に期待する規定を使用するシーケンスは基本的にTTC TR-1088の通りとなりますが、以下の表13-2.1にTTC規定との差分を示します。</u></p> <p><u>表 13-2.1 TTC規定とのシーケンス・パラメータ差分</u></p> <table border="1" data-bbox="156 489 1010 1275"> <thead> <tr> <th data-bbox="156 489 214 558">分類</th> <th data-bbox="214 489 272 558">項番</th> <th data-bbox="272 489 413 558">項目</th> <th data-bbox="413 489 542 558">比較対象 TTC規定</th> <th data-bbox="542 489 784 558">内容</th> <th data-bbox="784 489 1010 558">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="156 558 214 775">SIP</td> <td data-bbox="214 558 272 775">S1</td> <td data-bbox="272 558 413 775">SessionExpires /MinSE</td> <td data-bbox="413 558 542 775">TR-1088</td> <td data-bbox="542 558 784 775">当社のINVITEの設定値はシステム一意で180sとなり、対向事業者様個別カスタマイズ不可</td> <td data-bbox="784 558 1010 775">当社のINVITEの設定値はシステム一意で180sとなり、対向事業者様個別カスタマイズ不可</td> </tr> <tr> <td data-bbox="156 775 214 953"></td> <td data-bbox="214 775 272 953">S2</td> <td data-bbox="272 775 413 953">Supported</td> <td data-bbox="413 775 542 953">TR-1088</td> <td data-bbox="542 775 784 953">・ INVITEのSupportedヘッダに199を付与 ・ 転送時のINVITEの場合、histinfoを付与</td> <td data-bbox="784 775 1010 953">199は基本固定事業者様との接続では流れない信号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="156 953 214 1132"></td> <td data-bbox="214 953 272 1132">S3</td> <td data-bbox="272 953 413 1132">Resource-Priority</td> <td data-bbox="413 953 542 1132">TR-1088</td> <td data-bbox="542 953 784 1132">当社発優先呼にはcpc=Priority以外にResource-Priorityヘッダを付与</td> <td data-bbox="784 953 1010 1132">ResourcePriorityは無視し、標準に従いcpcで制御いただければ問題なし</td> </tr> <tr> <td data-bbox="156 1132 214 1275"></td> <td data-bbox="214 1132 272 1275">S4</td> <td data-bbox="272 1132 413 1275">Accept</td> <td data-bbox="413 1132 542 1275">TR-1088</td> <td data-bbox="542 1132 784 1275">INVITE、および200OK (INVITE)にAcceptヘッダを付与</td> <td data-bbox="784 1132 1010 1275"></td> </tr> </tbody> </table>	分類	項番	項目	比較対象 TTC規定	内容	備考	SIP	S1	SessionExpires /MinSE	TR-1088	当社のINVITEの設定値はシステム一意で180sとなり、対向事業者様個別カスタマイズ不可	当社のINVITEの設定値はシステム一意で180sとなり、対向事業者様個別カスタマイズ不可		S2	Supported	TR-1088	・ INVITEのSupportedヘッダに199を付与 ・ 転送時のINVITEの場合、histinfoを付与	199は基本固定事業者様との接続では流れない信号		S3	Resource-Priority	TR-1088	当社発優先呼にはcpc=Priority以外にResource-Priorityヘッダを付与	ResourcePriorityは無視し、標準に従いcpcで制御いただければ問題なし		S4	Accept	TR-1088	INVITE、および200OK (INVITE)にAcceptヘッダを付与		
分類	項番	項目	比較対象 TTC規定	内容	備考																											
SIP	S1	SessionExpires /MinSE	TR-1088	当社のINVITEの設定値はシステム一意で180sとなり、対向事業者様個別カスタマイズ不可	当社のINVITEの設定値はシステム一意で180sとなり、対向事業者様個別カスタマイズ不可																											
	S2	Supported	TR-1088	・ INVITEのSupportedヘッダに199を付与 ・ 転送時のINVITEの場合、histinfoを付与	199は基本固定事業者様との接続では流れない信号																											
	S3	Resource-Priority	TR-1088	当社発優先呼にはcpc=Priority以外にResource-Priorityヘッダを付与	ResourcePriorityは無視し、標準に従いcpcで制御いただければ問題なし																											
	S4	Accept	TR-1088	INVITE、および200OK (INVITE)にAcceptヘッダを付与																												

## 接続約款新旧対照表

頁	新					旧
技別 13- 2- 1、 技別 13- 2- 2	S5	Reason	TR-1088	BYE/CANCEL/Error応答 全般にReasonヘッダを 付与する場合がある。	欠番時のCause=1以外 特に期待動作無し	
	S6	SDP内o=行	TR-1088	0=行に設定されるIPア ドレスがC-Planeノード のもの		
	S7	P-A-I無し時 の動作	JJ-90.30	P-A-I無しの着信は呼損 となる。	当社着でP-A-I無しは 標準違反想定	
	S8	TIMER-C更新	JJ-90.30	TimerC更新の18x送出機 能無し（当社サービス 仕様として160s前後で 切断する動きあり）		
	ENUM	E1	EDNSO	JJ-90.31 ※v4.0以 前	当社ClientはEDNSO非対 応（Serverは対応応答 を返却）	
	NW	N1	RouterID	二	NNI区間で接続するNW機 器のRouterIDが 10.252.x.xのv4ブライ ベートIPアドレス形式	BGP-OPENの際にのみ情 報交換処理がある認識 のため、ID重複無しに ついては御確認いただ きたい。